

# 令和7年度 淀川管内新規河川レンジャー展開計画 大阪ブロック (案)

目次	
1. 新規河川レンジャー展開計画について	1
2. 各視点から必要となる活動と令和7年度展開計画 (案)	3
3. 福島出張所管内における展開計画検討資料	5
4. 毛馬出張所管内における展開計画検討資料	9
5. 枚方出張所管内における展開計画検討資料	13
6. 高槻出張所管内における展開計画検討資料	17
〔巻末資料〕 令和6年度淀川管内河川レンジャー活動分布図	21



# 1. 新規河川レンジャー展開計画について

## (1) 目的

新規河川レンジャー展開計画（以下、展開計画）とは、河川レンジャー大阪／京都ブロック運営会議（以下、運営会議）において、所属する河川レンジャーの活動状況等を踏まえ、運営会議の対象区域に望ましい活動内容と活動エリア、必要な河川レンジャーの人員を検討・決定する年度毎の計画であり、河川レンジャーの募集・決定の基準となるものです。

運営会議は、この展開計画について討議、決定する役割を担っています（運営要領第 59 条）。

## (2) 河川レンジャーの活動範囲と活動分野

### ①活動範囲について

河川レンジャーは、淀川河川事務所が管轄する範囲（7つの出張所が分担して管理）を基本に、その沿川地域も含めて活動を行うことができます。

河川レンジャーはそれぞれ運営会議に所属しており、その運営会議を構成する出張所の管理範囲をあわせたものが河川レンジャーの活動範囲となります（運営要領第 8 条）。

また、河川レンジャーは、本来の活動範囲以外の場所でも活動を行えるよう、活動範囲の拡大も認められています。

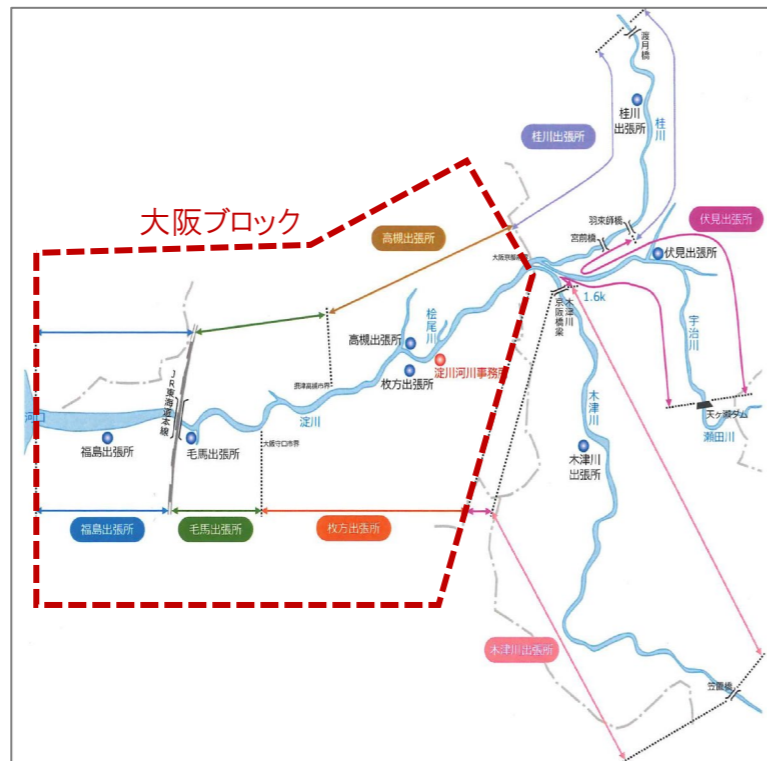


図 1.1 大阪ブロック運営会議管轄範囲

### ②活動分野について

河川レンジャーが行う活動については、運営要領に以下の 10 項目の内容が定められています（運営要領第 11 条）。

河川レンジャーの活動内容	
(1)	防災・救援・救難の推進を図る活動
(2)	河川の環境保全を図る活動
(3)	河川の適正な利用の推進を図る活動
(4)	節水意識の普及・啓発活動
(5)	日常的な河川管理活動
(6)	河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動
(7)	河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動
(8)	川づくり・まちづくりへの参画・支援活動
(9)	川の人材を育成する活動
(10)	淀川管内河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信

展開計画では、これらの活動内容について、河川レンジャー自身が貢献したと考えている活動分野を以下の 6 つに分類整理しています。

表 1.1 展開計画で用いる河川レンジャーの活動分野の分類

活動分野	活動事例
治水・防災	河川管理施設の学習会、水害・水防工法の体験学習、マイ防災マップづくり、避難活動
環境保全	自然観察、外来種の除去、生物調査、水質調査
河川利用	河川利用者への安全指導、不法投棄・不法工作の把握、節水意識の啓発、Eボート体験
維持管理	清掃活動、水辺の安全利用点検、河川管理施設等の異常箇所の把握
歴史・文化	河川に係わる史跡の探訪、歴史・文化講座
川づくり・人づくり	ワークショップ、意見交換会、ジュニア河川レンジャーの養成、河川愛護団体の創出

### (3) 展開計画における河川レンジャーの人員

河川レンジャーの人員は、出張所ごとに若干名と定められています（運営要領第 19 条）。

現在 1 出張所あたり最大 5 名を目安とした運用を行っています。

各出張所管内に在籍する河川レンジャーは 5 名程度を目安に募集を行っており、最大 5 名を超えないように運用してきましたが、近年、志望者に対し募集枠を超えていたり、希望出張所では募集が無かったりする等、諦めざるを得ない事例が目立っています。よって、人材の流出を防ぐため、河川レンジャーの人員を出張所あたり 6 名までを目安として運用することとします。

ただし、6 人目は、河川レンジャーとして実施したい活動が、展開計画の重視する活動分野または活動区域である方を対象とします。※令和 7 年度は該当する出張所なし

(4) 河川レンジャーの募集人数

地域における河川レンジャー活動の継続という観点から、河川レンジャーの任期について確認し、令和7年度の河川レンジャーの募集人数について検討します。

大阪ブロックの4出張所における現在の河川レンジャーのキャリア、今後の見通しをふまえた令和7年度の募集人数は以下の通りです。なお、令和7年度に任命された河川レンジャーは、令和8年度から自身が計画する活動を開始します。

募集人数は、毎年度1~2名程度の新規河川レンジャーを募集することで、在籍人数4~5名程度を維持し、地域に必要な活動が継続できるよう検討します。

なお、募集人数を確定する時点において、辞任や転籍の意向を把握調整した上で、最終的な募集人数を確定します。

表 1.2 大阪ブロックにおける在籍状況と令和7年度募集人数

所属	氏名	任命年	キャリア (R7.4月時点)	R8 (予定)	R9 (予定)	R10 (予定)	R7 在籍者数	R7 募集人数	募集人数について
福島	兒玉 曜子	R5	1年目(1期1年目)				2	2	R7年度は2名が在籍していますが、当管内は在籍するレンジャーが最も少ないため、活動継続の観点から2名を募集します。
	白川 公彦	R6	試行期間						
毛馬	伊藤 茂	H29	7年目(特例再任2期1年目)				4	1	R7年度は4名が在籍していますが、R7年度に1名が任期満了を迎え、R8年度は3名体制となるため、活動継続の観点から1名を募集します。
	岸田 俊徳	R2	4年目(2期2年目)						
	土屋 直裕	R6	試行期間						
	波戸 睦	R6	試行期間						
枚方	道場 明子	R1	5年目(特例再任1期1年目)				3	1	R7年度は3名が在籍しており、R8年度も3名体制が継続されますが、今後の活動継続の観点から1名を募集します。
	岡村 雅広	R4	2年目(1期2年目)						
	天野 康生	R5	1年目(1期1年目)						
高槻	杉本 真一	R1	5年目(特例再任1期1年目)				4	1	R7年度は4名が在籍しており、R8年度も4名体制が継続されますが、今後の活動継続の観点から1名を募集します。
	竹本 克巳	R3	3年目(2期1年目)						
	奥山 佳一	R6	試行期間						
	小林 勝男	R6	試行期間						
合計							13	5	

※上記は満期までの活動を想定(試行期間を含め5年間)。

キャリアは試行期間を除く年数を記載。

凡例	<span style="background-color: #FFC0CB; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 試行期間	<span style="background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 第1期	<span style="background-color: #FFFF00; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 第2期
		<span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 特例再任第1期	<span style="background-color: #FFDAB9; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 特例再任第2期

(5) 令和7年度展開計画の考え方 ~地域に必要な活動内容と活動エリア~

河川レンジャーの役割は、河川と地域との良好な関係を構築することです。

展開計画の作成にあたっては、地域と河川レンジャーの状況の両面から検討する必要があるため、2つの視点から活動の展開の方向を整理します。

**視点1 地域に必要な活動とされる活動からの展開**

河川レンジャーには「住民と行政の橋渡し役」となることが期待されるため、自治体との連携や協働の可能性という観点も重要です。そこで、沿川自治体で展開されている総合計画等から地域の課題やニーズを把握することで、地域で必要とされている活動分野を整理します。

また、河川管理者のニーズを把握することを目的として、淀川河川事務所で進められている河川事業や川の課題を整理するとともに、地域住民のニーズの把握を目的として、アンケート調査結果から河川レンジャーに求められる活動を整理します。

- [1] 地域づくりの最上位計画に相当する自治体の総合計画等から地域の課題を抽出し、自治体との連携・協働の可能性という観点も含めて地域で望まれている河川レンジャー活動を整理します。
- [2] 河川事業への貢献や連携に繋がる活動を抽出するため、淀川河川事務所が推進している事業等から河川レンジャーが連携を図るに相応しい事業や活動分野を整理します。
- [3] 河川管理者と河川レンジャーの意見交換会で抽出された川の課題等から、課題解決に向けて河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野等を整理します。
- [4] アンケート調査を実施することで、地域住民の河川レンジャー活動に対するニーズを幅広く収集し、今後の河川レンジャーに求められる役割を整理します。

また併せて、河川利用において地域から望まれている活動を抽出するため、淀川管内河川保全利用委員会資料から河川レンジャーとの連携・協働が求められている地域や活動分野を整理します。(令和7年度は大阪ブロックでは該当出張所なし。)

**視点2 河川レンジャーの活動状況からの展開**

河川レンジャーは平成15年度にスタートしており、すでに地域に根ざしたものとなってきています。このため、これまでの活動状況などをふまえた展開計画の検討が必要です。

- [5] これまでの河川レンジャーの活動状況から、活動が展開されてきた分野や地域を整理し、継続性などを踏まえて今後も展開することが効果的な活動分野を抽出整理します。なお、抽出に際しては来年度に実施予定の活動分野や地域についても整理し、検討のベースとします。

## 2. 各視点から必要となる活動と令和7年度展開計画（案）

### （1）地域に必要であると考えられる活動【視点1とりまとめ結果】

大阪ブロックの各出張所管内において、地域に必要であると考えられる活動分野は以下の通りです。

表 2.1 大阪ブロックにおいて地域に必要と考えられる活動分野

視点の内容	出張所			
	福島	毛馬	枚方	高槻
[1] 沿川自治体との連携や協働の観点から必要な活動分野	①川・人づくり ②治水・防災 ③環境保全	①川・人づくり ②環境保全 ③治水・防災	①治水・防災 ②環境保全 ③川・人づくり	①環境保全 ②治水・防災 ②川・人づくり
[2] 淀川の河川事業やかわまちづくりとの連携に相応しい活動分野	治水・防災 河川利用	治水・防災 環境保全 河川利用 歴史・文化	治水・防災 環境保全 河川利用 川・人づくり	治水・防災 環境保全
[3] 川の課題解決に向けた取り組みが必要な活動分野	維持管理	治水・防災 環境保全 維持管理	環境保全 河川利用 維持管理	治水・防災 環境保全 河川利用
[4] アンケート結果から得られた地域のニーズが高い活動分野	①歴史・文化 ②治水・防災 ③維持管理	①歴史・文化 ②治水・防災 ③環境保全	①歴史・文化 ②治水・防災 ③環境保全	①歴史・文化 ②治水・防災 ③環境保全
地域に必要と考えられる活動分野 ※[1]と[4]については、最も関連性やニーズが高い分野①を抽出	<u>治水・防災</u> 河川利用 <u>維持管理</u> 歴史・文化 川・人づくり	治水・防災 <u>環境保全</u> 河川利用 <u>維持管理</u> <u>歴史・文化</u> <u>川・人づくり</u>	<u>治水・防災</u> <u>環境保全</u> <u>河川利用</u> 維持管理 歴史・文化 <u>川・人づくり</u>	<u>治水・防災</u> <u>環境保全</u> 河川利用 歴史・文化
[参考情報] 河川保全利用委員会において河川レンジャーとの連携が望まれている活動分野	無し	無し	無し	無し

※[1]の○数字は自治体における関連施策等が多い活動分野の順位を、[4]の○数字は地域のニーズが高い活動分野の順位を示します。

### （2）河川レンジャーの活動状況から必要と考えられる活動【視点2とりまとめ結果】

大阪ブロックの各出張所管内において、これまでの河川レンジャーの活動状況（継続性等）から必要であると考えられる活動分野は以下の通りです。

表 2.2 大阪ブロックにおいて河川レンジャーの活動状況から必要と考えられる活動分野

視点の内容	出張所			
	福島	毛馬	枚方	高槻
[5] これまでの活動状況を踏まえ、活動の継続性などの観点から必要と考えられる活動分野	<u>治水・防災</u> <u>維持管理</u>	<u>環境保全</u> <u>維持管理</u> <u>歴史・文化</u> <u>川・人づくり</u>	<u>治水・防災</u> <u>環境保全</u> <u>河川利用</u> <u>川・人づくり</u>	<u>治水・防災</u> <u>環境保全</u> 維持管理

※上記アンダーラインは、視点1と視点2に重複する“特に重視すべき活動分野”を示します。



上記【視点1】【視点2】のとりまとめ結果を踏まえた展開計画（案）を次ページに示します。

なお上記[1]～[5]および参考情報の具体的な内容については5ページ目以降に出張所別にまとめています。

(3) 令和7年度河川レンジャー展開計画

これまでの整理結果を踏まえ、大阪ブロックにおける令和7年度の展開計画（案）は以下の通りとします。

なお、展開計画（案）に示す活動内容等において、必要であると考えられる分野は【視点1】または【視点2】で抽出された活動分野を広く記載し、“なかでも重視する分野”は【視点1】と【視点2】に重複して抽出された活動分野を示しています。

表 2.3 令和7年度 大阪ブロック展開計画（案）（1/2）

管内	募集人数	重視する活動区域	活動内容等
福島	2名	全域	<p>必要であると考えられる分野は「治水・防災」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。</p> <p>なかでも、<u>自然災害への備えについて地域のニーズが高く、継続的に広く活動が展開されている「治水・防災」分野、不法投棄対策など川の課題解決に向けた取り組みの推進が求められている「維持管理」分野の2分野を重視します。</u></p> <p><b>【具体的な活動イメージ】</b></p> <p>①防災、地域の歴史・文化に関する知見をもとに、川の魅力や自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々(子どもを含む)に伝える活動【治水・防災】【歴史・文化】</p> <p>②水辺で安全指導を行う活動【河川利用】</p> <p>③河川美化・ごみを捨てないマナーアップの活動【維持管理】</p> <p>④川に関わる人材を育成する活動【川づくり・人づくり】</p> <p>⑤個人・団体(地元自治会等)・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動【全活動分野】</p>
毛馬	1名	全域	<p>必要であると考えられる分野は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。</p> <p>なかでも、<u>淀川の生態系の保全を目的とした活動の継続が必要である「環境保全」分野、不法投棄対策など川の課題解決に向けた取り組みの推進が求められている「維持管理」分野、地域住民からのニーズが高く、舟運の歴史を伝える語り部など活動の充実を図るため「歴史・文化」分野、地域と連携した川づくりに継続して取り組むため「川づくり・人づくり」分野の4分野を重視します。</u></p> <p><b>【具体的な活動イメージ】</b></p> <p>①防災、地域の歴史・文化に関する知見をもとに、川の魅力や自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々(子どもを含む)に伝える活動【治水・防災】【歴史・文化】</p> <p>②河川環境に関する知見をもとに、川の魅力などをわかりやすく地域の人々(子どもを含む)に伝える活動や自然観察会等の水辺に親しむ活動。また、外来種防除など河川環境を保全する活動【環境保全】</p> <p>③水辺で安全指導を行う活動【河川利用】</p> <p>④河川美化・ごみを捨てないマナーアップの活動【維持管理】</p> <p>⑤河川の整備に関するワークショップ、川に関わる人材を育成する活動【川づくり・人づくり】</p> <p>⑥個人・団体(地元自治会等)・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動【全活動分野】</p>

表 2.4 令和7年度 大阪ブロック展開計画（案）（2/2）

管内	募集人数	重視する活動区域	活動内容等
枚方	1名		<p>現在、寝屋川市域では河川レンジャーアドバイザーが中心となった活動が実施されており、今後も継続的な展開が望ましいことから、寝屋川市域で活動する河川レンジャーが必要と考え、<b>寝屋川市</b>を重視する活動区域に定めます。</p> <p>必要であると考えられる分野は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」です。</p> <p>なかでも、<u>自然災害への備えや淀川環境、安全な利用についての学習などで地域から高いニーズがある「治水・防災」分野、「環境保全」分野、「河川利用」分野、点野ワンドにおいて地域と連携した川づくりが継続的に実施されている「川づくり・人づくり」分野の4分野を重視します。</u></p> <p><b>【具体的な活動イメージ】</b></p> <p>①防災、地域の歴史・文化に関する知見をもとに、川の魅力や自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々(子どもを含む)に伝える活動【治水・防災】【歴史・文化】</p> <p>②美しい環境について学び、守り育てる活動や自然観察会等の水辺に親しむ活動。また、外来種防除など河川環境を保全する活動【環境保全】</p> <p>③水辺で安全指導を行う活動【河川利用】</p> <p>④河川美化・ごみを捨てないマナーアップの活動【維持管理】</p> <p>⑤河川の整備に関するワークショップ、川に関わる人材を育成する活動【川づくり・人づくり】</p> <p>⑥個人・団体(地元自治会等)・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動【全活動分野】</p>
高槻	1名	全域	<p>必要であると考えられる分野は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」です。</p> <p>なかでも、<u>自然災害への備えについて地域のニーズが高く、継続的に広く活動が展開されている「治水・防災」分野、自然観察会や環境学習が活発であり、今後は、淀川の生態系の保全を目的としたワンドの外来種防除の取り組みも必要と考えられる「環境保全」分野の2分野を重視します。</u></p> <p><b>【具体的な活動イメージ】</b></p> <p>①防災、地域の歴史・文化に関する知見をもとに、川の魅力や自然災害への備えの必要性などをわかりやすく地域の人々(子どもを含む)に伝える活動【治水・防災】【歴史・文化】</p> <p>②美しい環境について学び、守り育てる活動や自然観察会等の水辺に親しむ活動。【環境保全】</p> <p>③水辺で安全指導を行う活動【河川利用】</p> <p>④河川美化・ごみを捨てないマナーアップの活動【維持管理】</p> <p>⑤個人・団体(地元自治会等)・企業・行政などの様々な主体と連携、協働して進める活動【全活動分野】</p>

### 3. 福島出張所管内における展開計画検討資料

#### (1) 沿川自治体で推進されている事業等【視点1】

大阪市域の総合計画等においては、人と人との繋がりによる“地域コミュニティの活性化”や、“安全・安心なまちづくり”などの防災・減災対策の推進、“環境先進都市大阪の実現”などでの気候変動対策や循環共生型社会の形成といった取り組みが記されています。

また、沿川各区分別の将来ビジョンでは、大規模災害を想定した地域主体の防災機能の向上が地域の大きな課題となっています。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「川づくり・人づくり」分野での展開が、次いで「治水・防災」「環境保全」分野での展開が考えられます。

表 3.1 河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・ 防災	環境 保全	河川 利用	維持 管理	歴史・ 文化	川・人 づくり
大阪市	大阪市未来都市 創生総合戦略 (R6.3 策定) 【R6～R10年度】	地域の安全・安心に向けた取組の推進	●					●
		地域の実情に即した特色ある施策の展開と 地域コミュニティの活性化						●
		大阪経済の活性化(公園の整備・リニューアル・利活用や歴史的 建築物の活用等、地域資源を活かした歴史的・文化的なまちな みの魅力を創出)			●			
		環境先進都市大阪の実現		●				
西淀川区	西淀川区将来ビジョン (H31.2) 【H31～R5年度】	安全・快適の強化	●	●				●
		区民主体の地域社会の促進	●	●			●	●
淀川区	淀川区将来ビジョン2025 (R5.1) 【R4～R7年度】	安全で安心なまちづくり(防災・減災対策)	●					
		人と人がつながりにぎわいと魅力あふれるまちづくり(地域コミュ ニティの活性化、魅力的なまちづくりの推進)	●	●	●	●	●	●
此花区	此花区将来ビジョン (R6.12) 【R6～R9年度】	地域コミュニティの活性化 (地域が自ら、地域を取り巻く社会環境の変化など複雑多様化する 地域課題に対応でき、日常および非日常時において共助が成 立し、暮らしやすい地域を創り出していくことができる状態)	●	●	●	●	●	●
		安心・安全・きれいで環境課題に取り組む街 (①災害が発生又は発生する恐れがある場合に、全ての区民が 自助・共助・公助により適切に避難ができる状態 ②街がきれいであり、区民や区内企業の環境問題への取組が進 んでいる状態)	●	●		●		●
福島区	福島区将来ビジョン (R4.3) 【R4～R7年度】	人と人がつながるまちづくり (地域活動支援関連施策の充実)	●	●			●	●
		安全・安心なまちづくり (防災と防犯関連施策の充実)	●				●	
		魅力あふれるまちづくり (にぎわいと緑化関連施策の充実)		●				●
北区	北区将来ビジョン (R3.3) 【R3～R5年度】	地域課題の解決に向けた取り組み	●	●	●	●	●	●
		災害時にも支え合えるつながりづくり	●					●

#### (2) 河川管理者等によって進められている河川事業等【視点1】

##### ① 阪神なんば線淀川橋梁改築

淀川本川の洪水・高潮対策として、平成30年度より阪神なんば線淀川橋梁改築事業の工事が実施されていることから、工事の見学会や学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。

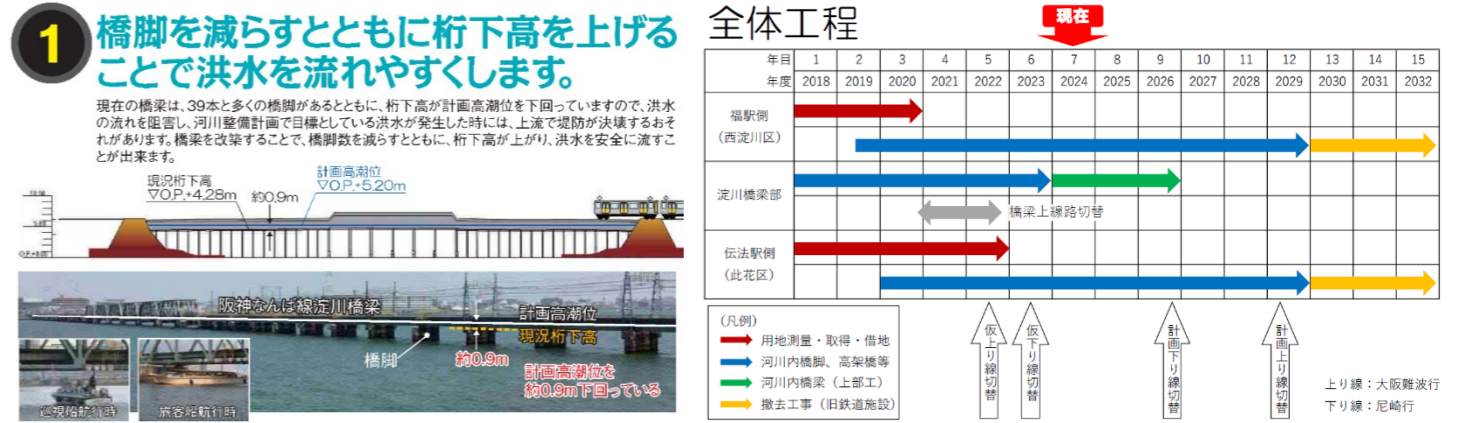


図 3.1 阪神なんば線淀川橋梁改築事業の概要

(阪神なんば線淀川橋梁改築事業パンフレット/事業進捗報告(2024.12)より抜粋)

##### ② 十三地区船着場整備

災害発生時には舟運が重要な役割を果たすことが期待されており、淀川では震災などに備えて緊急用船着場の整備が進められています。

福島出張所管内では、十三地区において「十三緊急用船着場」が令和6年度に完成し、周辺自治体と連携した船着場を拠点としたまちづくりなども進められていることから、今後、河川レンジャーにおいては船着場や舟運と連携した「河川利用」に関する活動展開が考えられます。



図 3.2 十三緊急用船着場の概要

(淀川河川事務所ホームページ/R6 年度事業概要より抜粋)

（3）意見交換会で抽出された川の課題【視点1】

河川管理者と河川レンジャーの意見交換会で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

表 3.2 川の課題と課題解決に向けた活動状況

川の課題	課題解決に向けた活動状況
不法投棄の防止	淀川水系一斉美化アクション（毎年1～3月に流域全体で清掃を実施）や個別の活動において河川清掃やマナーアップの取り組みを行っており、今後も継続的な展開が必要である。 なお、当管内は特に河川の不法投棄にも悩まされており、美化（クリーン作戦）だけでなく投棄自体の抑制に繋がるような活動展開も必要である。
景観保全・落書き防止	河川管理施設等への落書きを防止するため、河川レンジャーが地域の小学校（伝法小学校）に呼び掛け、学校の協力により児童が絵画を作成し、令和6年3月に伝法陸開左岸ゲート壁面に絵画を設置する取り組みを実施する等、対策を行っている。
新北野ヨシ原保全	「新北野ヨシ原再生・保全活動」R3～ 新北野では工事に伴いヨシ原の移植が行われており、保全が必要となっている。地域の企業からCSR活動への協力依頼があり、新北野ヨシ原で年2回の活動を河川レンジャーが計画し、企業と連携してヨシ原の清掃を行っている。
十三干潟の利活用・保全	過年度（R5年度）には十三干潟における自然観察会を実施している。
樹林化防止	淀川では各出張所管内において河川管理に支障となる樹木の伐採が行われているが、樹木は生長が早いため、伐採後の再繁茂を防ぐことが課題となっている。 福島出張所管内では、河川レンジャーが地域住民と連携して、「芽かき」を行う活動等を検討していたが、コロナ禍で活動が中止となり、実施には至っていない。

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「維持管理」分野での活動展開が必要と考えられます。

(4) 地域住民のニーズ【視点1】

① アンケート調査の概要

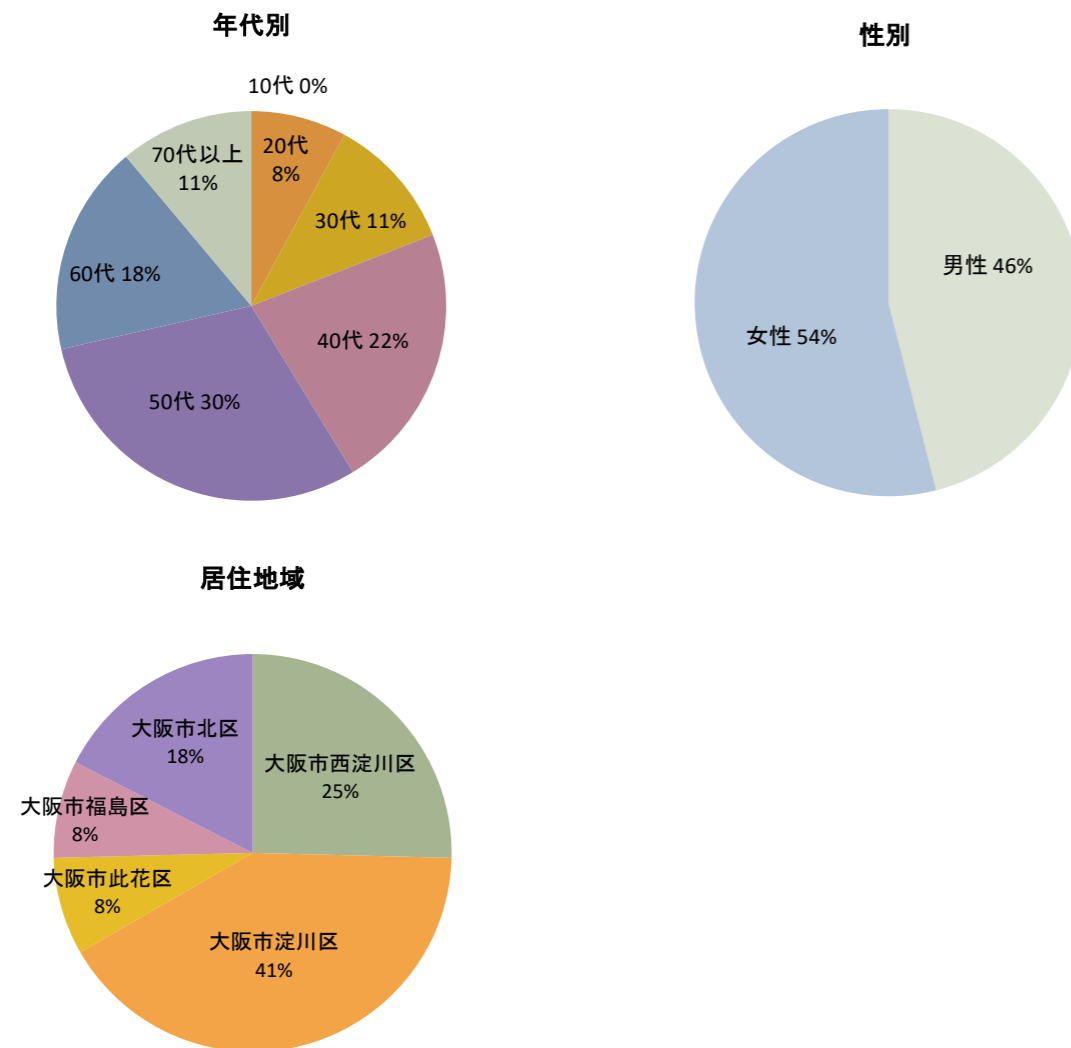
河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

表 3.3 アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和7年1月30日～31日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	63

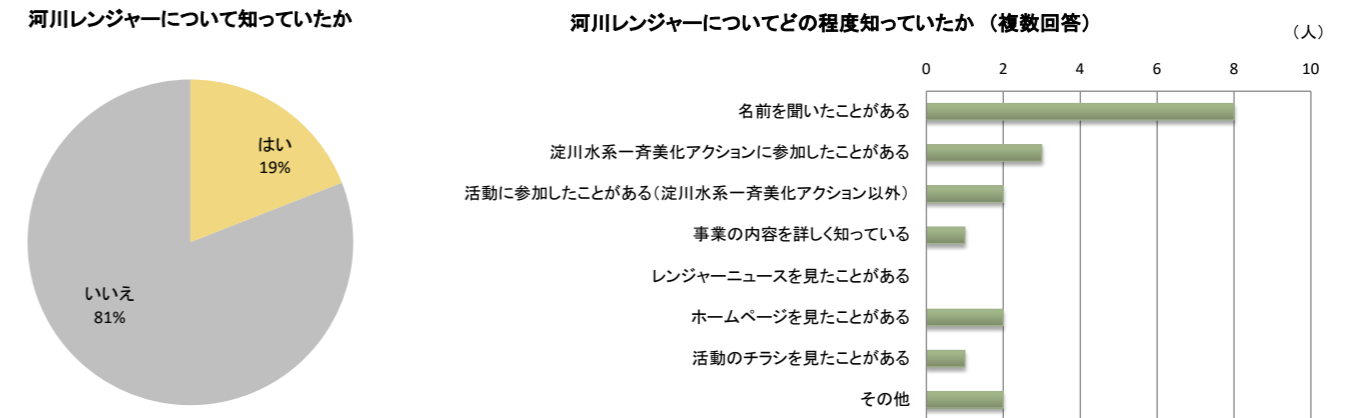
\*分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成22年3月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【福島出張所管内回答者属性】



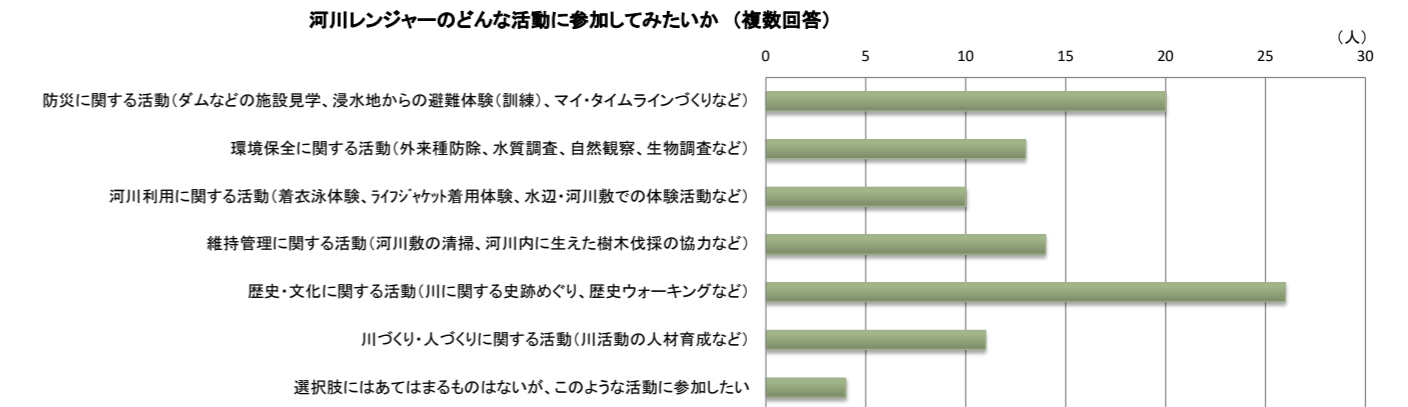
② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ  
 <河川レンジャーの認知度>

河川レンジャーの認知度は19%（昨年調査24%）であり、「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、活動に参加したことがあるという方もいます。



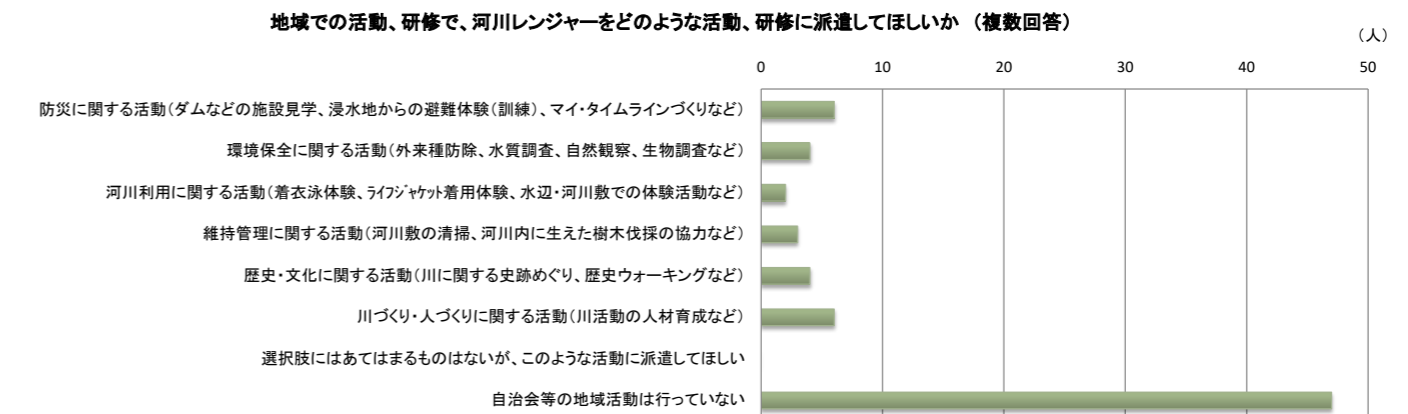
<参加を希望する活動>

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「歴史・文化」に関する活動への参加希望が最も多く、次いで「治水・防災」「維持管理」に関する活動が希望されています。



<地域活動への支援ニーズ>

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「治水・防災」「川づくり・人づくり」に関する活動が多くなっています。



（5）河川レンジャーの活動状況【視点2】

① これまでの河川レンジャー活動状況

福島出張所管内では、河川環境の保全・河川利用マナー啓発のため河川清掃活動が実施されており、企業からCSR活動への協力依頼がある等、地域ニーズがある活動です。今後も、ゴミを捨てにくい環境づくりの取り組みやゴミを捨てないマナーアップの活動が必要です。（「維持管理」分野の活動）

また、水害に備え、被害の軽減の観点から住民の主体的かつ適切な避難行動の実現に向け、避難訓練への協力、マイ防災マップやマイ・タイムライン作成指導等の活動に取り組んでおり、今後も継続していく必要があります。（「治水・防災」分野の活動）

淀川への興味・関心を高めるため、地域行事に参加し、パネル展示や河川管理施設の見学等を行い河川整備や防災の啓発を行う活動が実施されています。また、ヨシ工作を通じて淀川の自然について知る活動も実施されています。（「治水・防災」「環境保全」分野の活動）

主な活動地域は、大阪市内（北区、西淀川区、淀川区、此花区）です。

活発な活動展開のため、管内のすべての地域で河川レンジャーが必要です。

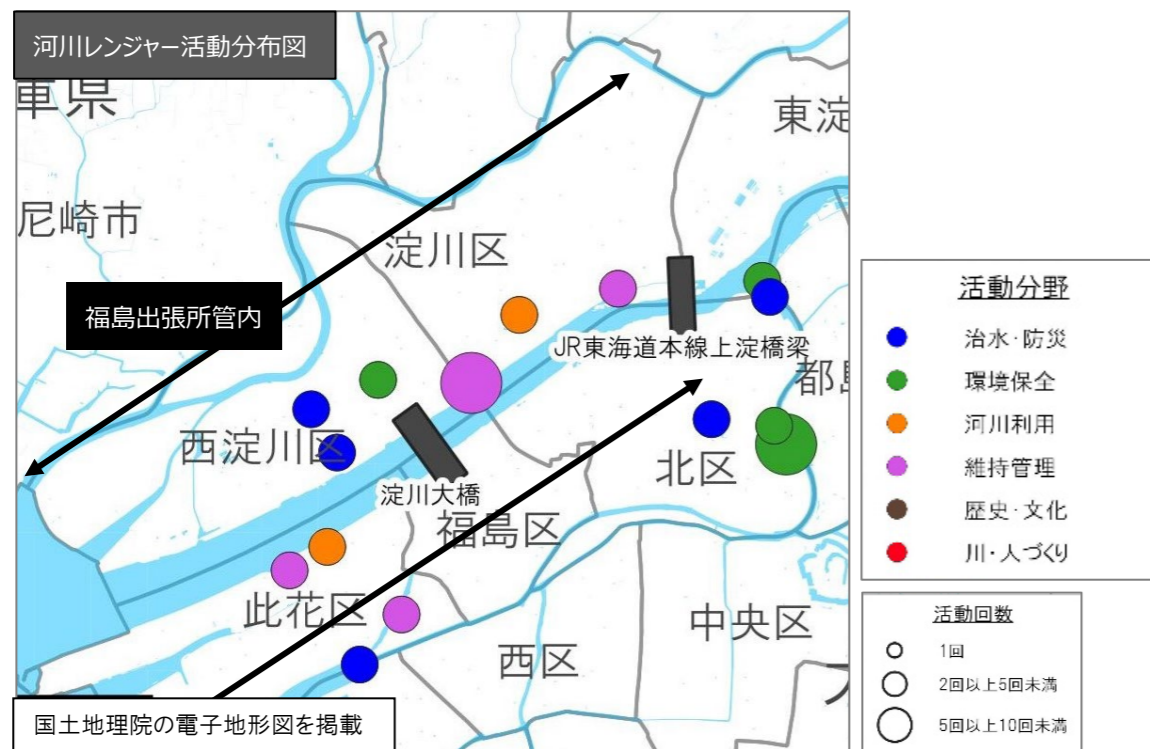


図 3.3 福島出張所管内 河川レンジャー活動分布図

※活動分布図は、河川レンジャーの活動報告をもとに主たる活動分野を事務局の判断で分類し、色で活動分野を、円の大きさを活動回数で示しています。また、上記の図は令和6年度（4月～1月）に実施された河川レンジャーの活動を対象に作成しています。当該期間においては全管内で135回の活動が実施されています。河川レンジャーアドバイザーのみで実施された活動は回数に含んでいません。（毛馬、枚方、高槻出張所管内についても同様の条件で作図しています）

表 3.4 福島出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理
パネル展示、防災学習 (桑村 R、児玉 R)	ヨシ工作 (桑村 R)	河川の利用マナー啓発 (牧野 R)	河川清掃 (全レンジャー)

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

② 令和7年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で2名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和7年度は「治水・防災」「河川利用」「維持管理」の分野で活動が予定されています。

また、活動地域については大阪市西淀川区と東淀川区での活動が予定されています。

表 3.5 福島出張所管内の令和7年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり人づくり	行政区							
								大阪市					その他		
								西淀川区	淀川区	此花区	福島区	北区			
児玉 曜子	西淀川区マイ・タイムライン	●						●							
	矢倉海岸探鳥会	●						●							
白川 公彦	大阪市内小学校での着衣水泳			●											● 東淀川区
	各自治会への安全親水講習			●											● 東淀川区
連携活動	西淀川区淀川右岸クリーン大作戦				●			●							

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。

また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

#### 4. 毛馬出張所管内における展開計画検討資料

##### (1) 沿川自治体で推進されている事業等【視点1】

大阪市域の総合計画等においては、人と人との繋がりによる“地域コミュニティの活性化”や、“安全・安心なまちづくり”などの防災・減災対策の推進、“環境先進都市大阪の実現”などでの気候変動対策や循環共生型社会の形成といった取り組みが記されており、沿川各区分の将来ビジョンでは、大規模災害を想定した地域主体の防災機能の向上が地域の大きな課題となっています。

また摂津市の総合計画では、災害に対する危機管理体制の強化や、河川等の魅力的な空間の保全・活用・緑化推進などの環境保全への取り組みが記されています。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「川づくり・人づくり」分野での展開が、次いで「環境保全」「治水・防災」分野での展開が考えられます。

表 4.1 河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・ 防災	環境 保全	河川 利用	維持 管理	歴史・ 文化	川・人 づくり
大阪市	大阪市未来都市 創生総合戦略 (R6.3 策定) 【R6～R10年度】	地域の安全・安心に向けた取組の推進	●					●
		地域の実情に即した特色ある施策の展開と 地域コミュニティの活性化						●
		大阪経済の活性化			●		●	
		環境先進都市大阪の実現		●				
東淀川区	東淀川区将来ビジョン (R4.4) 【R4～R8年度】	自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまちづくり		●				●
		安全・安心のまちづくり	●					●
北区	北区将来ビジョン (R3.3) 【R3～R5年度】	地域課題の解決に向けた取り組み	●	●	●	●	●	●
		災害時にも支え合えるつながりづくり	●					●
都島区	都島区将来ビジョン2025 (R6.3更新) 【R3～R7年度】	防災のまちづくり	●					●
		安全で美しいまちづくり		●		●		
		コミュニティ豊かなまちづくり						●
旭区	旭区将来ビジョン2027 (R5.3) 【R5～R9年度】	魅力あるまちづくり		●	●		●	●
		コミュニティ活性化のための取組	●	●	●	●	●	●
		地域資源を活用したまちの魅力づくり		●	●		●	
摂津市	摂津市行政経営戦略 /第4次摂津市総合計画 (第2次改訂版) (R3.3) 【R3～R7年度】	防災体制の充実	●					●
		みんなが安全で快適に暮らせるまちづくり (良好な都市計画の形成、災害に対する危機管理体制の強化)	●	●				●
		みどりうるおう環境を大切にすまちづくり (河川や水路の魅力的な空間としての保全・活用、緑化推進)		●	●	●		●

##### (2) 河川管理者等によって進められている河川事業等【視点1】

###### ① 大宮東地区高規格堤防整備(大阪市旭区)

大阪市旭区の大宮東地区では令和5年度から引き続き高規格堤防の整備が進められていることから、工事の見学会や学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。

###### ② 淀川大堰閘門整備

淀川大堰においては、災害時の陸上交通代替手段としての舟運の活用や、平常時の大規模な資機材や土砂運搬などの公共事業での利活用を目的として、淀川大堰閘門の整備が進められています。

ここでは、施設の役割や舟運の歴史等について住民に伝える「河川利用」「歴史・文化」の活動展開が考えられます。



図 4.1 淀川大堰閘門の概要(淀川河川事務所 R6 年度事業概要より抜粋)

###### ③ 鳥飼地区河川防災ステーション整備/鳥飼地区ワンド整備/鳥飼上地区ローラースポーツ施設整備

摂津市鳥飼地区においては、淀川河川事務所管内では初めての「河川防災ステーション」の整備が進められており、地域と連携した平常時の防災・河川利用の学習等での利活用など「治水・防災」「河川利用」に関する活動展開が考えられます。

また、当該地区においては令和6年度に鳥飼地区既存ワンドの機能改善が図られるとともに、鳥飼上地区の淀川河川公園ではローラースポーツ施設の整備も進められており、更なる地域の魅力向上に繋がる「環境保全」や「河川利用」に関する活動展開も考えられます。

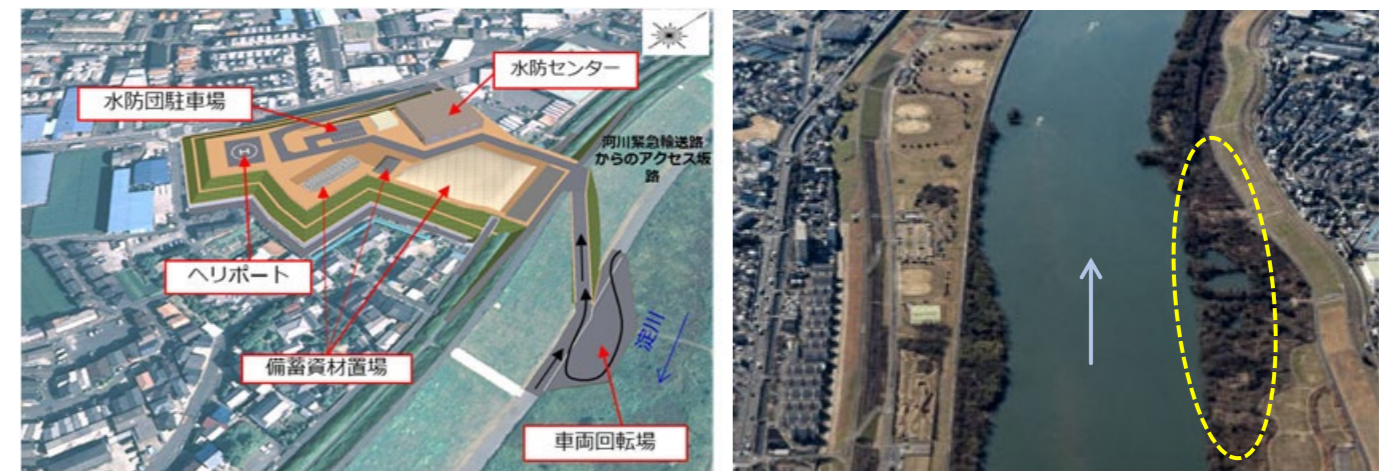


図 4.2 鳥飼地区河川防災ステーション整備イメージと上空から見た鳥飼ワンド群(淀川河川事務所 R6 年度事業概要より抜粋)

(3) 意見交換会で抽出された川の課題【視点1】

河川管理者と河川レンジャーの意見交換会で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

表 4.2 川の課題と課題解決に向けた活動状況

川の課題	課題解決に向けた活動状況
鳥飼ワンドの保全・利活用	「鳥飼ワンドの外来水草除去大作戦」R2～ ワンドの環境を改善し、地域住民に利活用してもらえる場所となることを目指して毛馬と高槻のレンジャーが連携して春と秋の年2回活動を実施している。R5年度には5月と11月に外来植物駆除、生物調査、伐木を実施しており、今後も継続的な展開が必要である。
河川管理（施設の役割）について地域住民に知ってもらう	R4年度は毛馬排水機場の見学会を計画、実施。R5年度も河川管理施設の見学を実施しており、今後も国が主催している毛馬排水機場見学会（1回/月）での河川レンジャー活動との連携などを継続して検討・実施していく必要がある。
赤川ワンドの環境保全	「赤川ワンド生き物観察会」R1～ 赤川ワンド観察会を毎年開催し、地域住民が淀川の生き物にふれ、ワンドも含めた淀川の自然を知る機会を提供している。しかし、生き物に詳しいレンジャーの辞任があり、今後どのように活動を進めるか、また、例年実施している観察会から活動をどう発展させるかが課題である。
城北ワンド周辺の環境保全	城北～赤川にかけて夏にオオバナミズキンバイの群落が拡大しており、河川レンジャーと連携した外来種駆除等の活動が望ましいが、周辺での活動予定がないため、今後は活動に取り組めるよう計画立案の支援などが必要である。
不法投棄の防止	淀川水系一斉美化アクション（毎年1～3月に流域全体で清掃を実施）や個別の活動において河川清掃やマナーアップの取り組みを行っており、今後も継続的な展開が必要である。 なお、当管内は特に河川の不法投棄にも悩まされており、美化（クリーン作戦）だけでなく投棄自体の抑制に繋がるような活動展開も必要である。 令和3年度には、西中島～新北野地区の不法投棄箇所を現地で確認した。

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「治水・防災」と「環境保全」「維持管理」分野での活動展開が必要と考えられます。

(4) 地域住民のニーズ【視点1】

① アンケート調査の概要

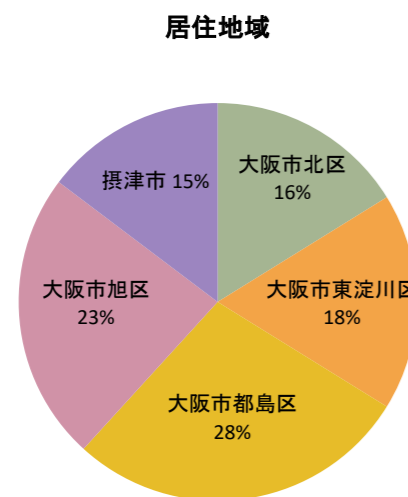
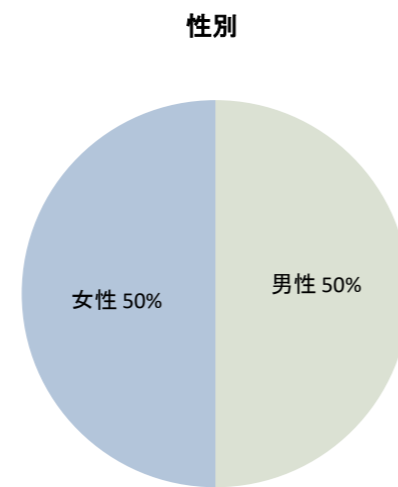
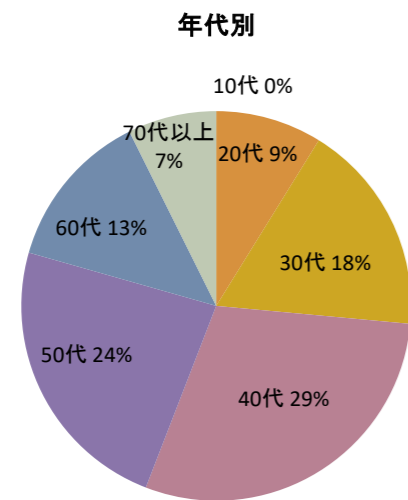
河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

表 4.3 アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和7年1月30日～31日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	68

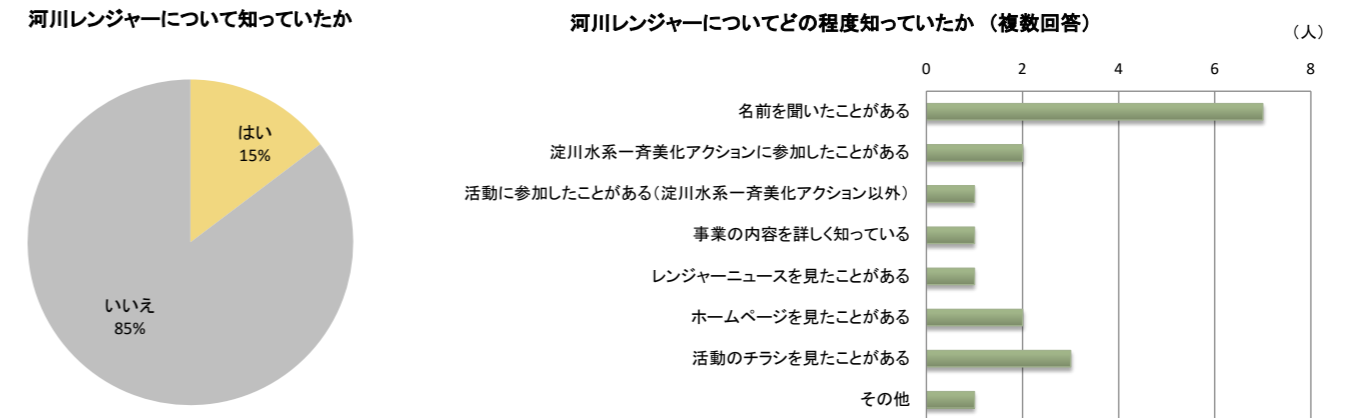
\*分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成22年3月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【毛馬出張所管内回答者属性】



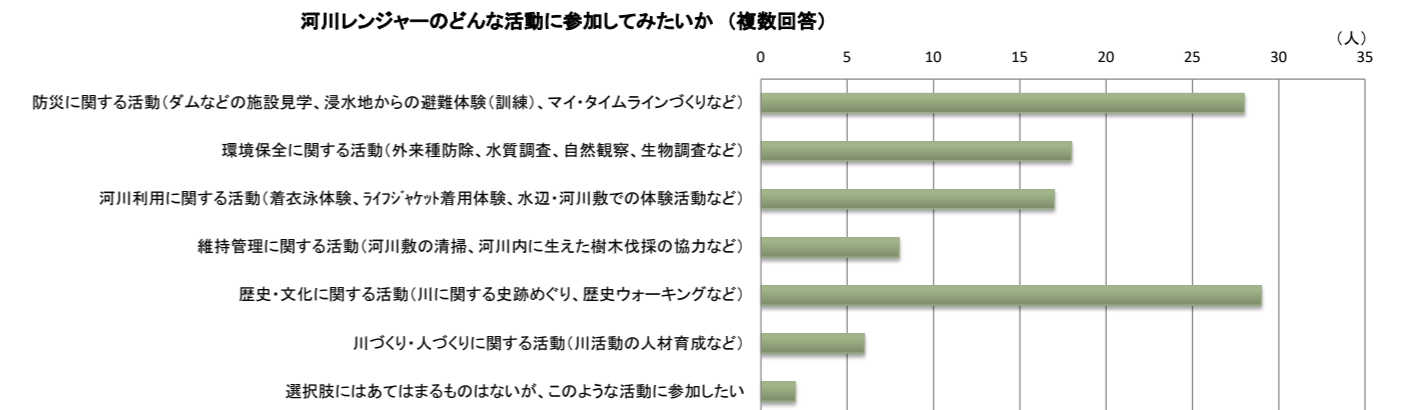
② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ  
 <河川レンジャーの認知度>

河川レンジャーの認知度は15%（昨年調査22%）であり、「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、活動に参加したことがあるという方もいます。



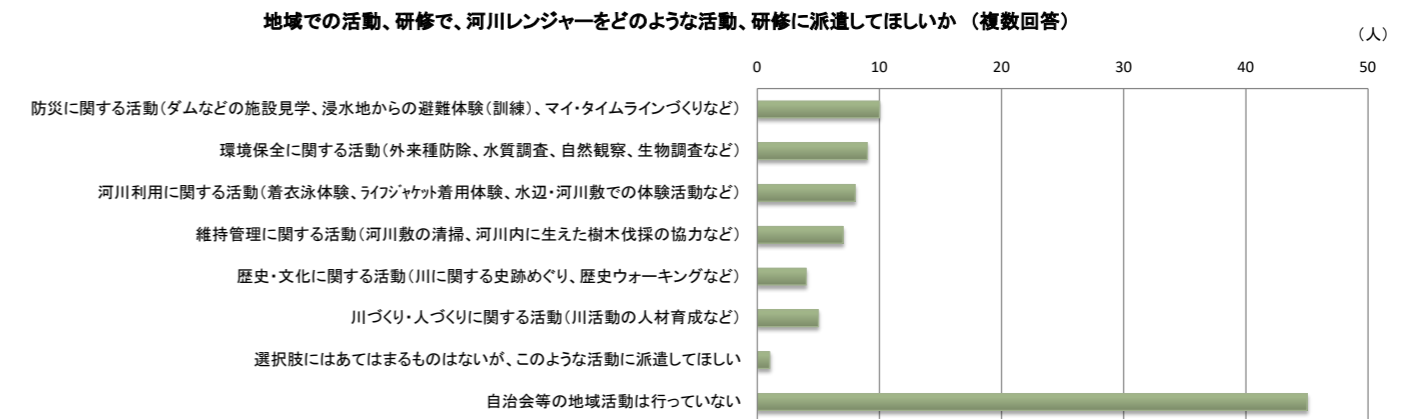
<参加を希望する活動>

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「歴史・文化」「治水・防災」に関する活動への参加希望が特に多く、次いで「環境保全」に関する活動が希望されています。



<地域活動への支援ニーズ>

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「治水・防災」「環境保全」に関する活動が多くなっています。



(5) 河川レンジャーの活動状況【視点2】

① これまでの河川レンジャー活動状況

毛馬出張所管内では、河川環境の保全・河川利用マナー啓発のため河川清掃活動が実施されており、企業のCSR活動としてもニーズがある活動です。今後も、ゴミを捨てにくい環境づくりの取り組みやゴミを捨てないマナーアップの活動が必要です。（「維持管理」分野の活動）

摂津市の鳥飼ワンドでは、令和元年度から外来種防除活動や水生生物調査が行われており、今後も継続が必要です。（「環境保全」分野）また、自然観察会・魚とり体験の実施や、舟運の歴史等を河川レンジャーが解説する「語り部」を務める活動など、コンテンツの充実を図ることも計画されています。

（「環境保全」「歴史・文化」分野）

摂津市と連携して川づくりを進めるにあたり、ワークショップや川に関わる人材の育成なども必要です。（「川づくり・人づくり」分野の活動）

淀川への興味・関心を高めるための活動としては、生き物観察、水利用について学ぶ講座等が実施されています。（「環境保全」「河川利用」分野の活動）

主な活動地域は、大阪市内（東淀川区、北区、都島区、旭区）、摂津市です。活発な活動展開のため、管内のすべての地域で河川レンジャーが必要です。

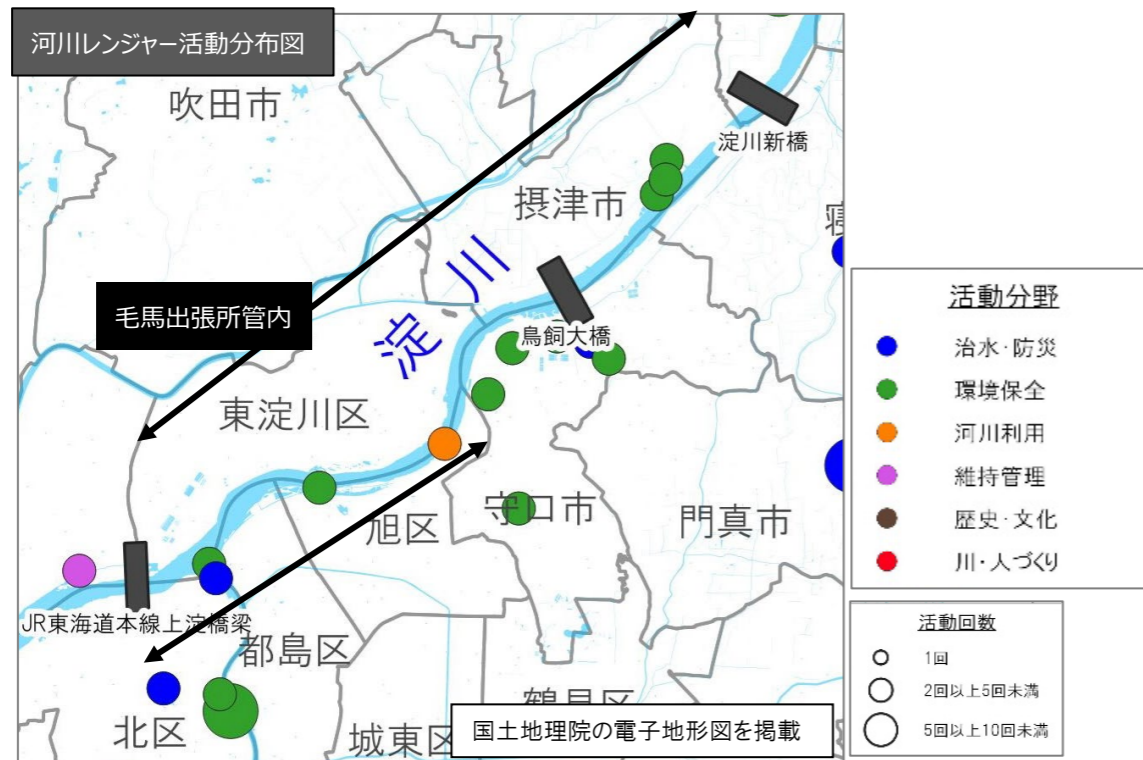


図 4.3 毛馬出張所管内 河川レンジャー活動分布図

表 4.4 毛馬出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理
河川管理施設の見学会 (伊藤 R)	自然観察会 (伊藤 R、岸田 R)	水利用について学ぶ講座 (岸田 R)	河川清掃 (伊藤 R、岸田 R)

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

② 令和7年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で4名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和7年度は「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」の分野で活動が予定されています。

また、活動地域については大阪市東淀川区、都島区、旭区、淀川区および摂津市での活動が予定されています。

表 4.5 毛馬出張所管内の令和7年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり人づくり	行政区					
								大阪市				摂津市	その他
								北区	東淀川区	都島区	旭区		
伊藤 茂	淀川大堰魚道見学		●										
	赤川ワンド生き物調査会		●										● 淀川区
	淀川の生き物展示		●										
	都島区民祭出展		●										
	企業清掃プロジェクト支援				●								● 淀川区
	OSAKA CITY 淀川左岸クリーン作戦				●								● 淀川区
	淀川小学校(防災キャンプ) 課外授業	●											
岸田 俊徳	淀川名人養成講座2025 淀川探検隊(2回)		●										
	ガールスカウトの淀川の生物調査と清掃活動		●										● 東淀川区
	淀川名人養成講座2025 淀川清掃活動				●								● 東淀川区
土屋 直裕	新淀川ものがたり～紙人形劇でたどる治水の歴史～(3回)					●							● 東淀川区 ● 都島区 ● 旭区
波戸 睦	淀川河川公園内(赤川地区・毛馬地区)水路・入江のクリーンアップと生き物観察		●										● 都島区
連携活動	流域治水グリーンインフラ・川づくりプロジェクト in 鳥飼地区(3回)		●										● 摂津市

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。

また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

## 5. 枚方出張所管内における展開計画検討資料

### (1) 沿川自治体で推進されている事業等【視点1】

沿川自治体の総合計画等では、防災・減災に関する事業が多数推進されており、地域の防災力向上が課題となっていることから、市民の防災力向上に向けて、マイ防災マップやマイ・タイムライン作成を通じた啓発活動で河川レンジャーとの連携が期待されます。

また、自然保護や環境学習に関する事業も推進されており、美しい環境を守り育てていくことが地域の課題となっていると考えられます。その他、身近に自然と触れ合える貴重な親水空間である淀川を地域の資源として保全・活用・魅力を発信する事業も推進されています。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「治水・防災」分野での展開が、次いで「環境保全」「川づくり・人づくり」分野での展開が考えられます。

表 5.1 河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・ 防災	環境 保全	河川 利用	維持 管理	歴史・ 文化	川・人 づくり
枚方市	第5次枚方市総合計画 /基本計画 (H28.4)  【H28～R9年度】	自主防災組織など地域防災力の充実支援	●					
		防災マップの配布などによる防災情報の共有化	●					
		道徳教育や体験学習などによる豊かな心の育成						●
		本市の自然や地域に伝わる歴史・文化など観光資源の情報発信の強化		●			●	
		道路・公園等の地域の美化活動(アダプトプログラム)の支援				●		
寝屋川市	第6次寝屋川市総合計画 /後期実施計画 (R6年度版)  【R6～R9年度】	自主防災組織の支援	●					●
		総合治水対策の推進	●					
		自然環境への意識向上の推進		●				
		水と触れ合える場の創出		●		●		●
		水辺環境の整備と保全		●		●		●
守口市	第6次守口市総合基本計画 /前期基本計画 (R3.3)  【R3～R7年度】	各家庭における災害対策(自助)の実践の促進	●					
		子どもを守るネットワークの確立	●					
		魅力資源としての文化財の保存と活用					●	
		地域コミュニティ協議会の活動支援	●	●	●	●	●	●
		環境配慮行動の促進 (環境問題の理解を深める等)		●				
		安全で適切な自転車利用の推進			●			

### (2) 河川管理者等によって進められている河川事業等【視点1】

#### ① 淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり

河川空間とまち空間が融合したにぎわいある良好な水辺空間の形成を目指す取り組み「かわまちづくり計画」において『淀川河川敷枚方エリア』が令和5年度に新規登録されました。

当該地区では令和6年度に護岸整備が進められており、今後、レンジャー活動での連携など「河川利用」や「川づくり・人づくり」に関する活動展開が考えられます。

また、この「かわまちづくり」に関しては、淀川沿川全体が一体となって「舟運」を一つのツールとして、それぞれの地域の賑わいを連動させることで沿川地域全体の賑わいを創出していく取り組みが進められており「淀川河川敷十三エリアかわまちづくり」「八幡市かわまちづくり」「伏見地区かわまちづくり」「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり」と連携した展開も考えられます。



図 5.1 淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり整備イメージ  
(淀川河川事務所 R6 年度事業概要より抜粋)

#### ② リバーテラスくらわんか(かわまちづくりとの連携)

淀川河川公園枚方地区および多自然池周辺では、堤防上で自然を満喫し、くつろげる賑わい空間の創出を目指す実証実験イベント『リバーテラスくらわんか』が令和4年度より毎年実施されています。

この取り組みは、令和6年度からは「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり協議会」が主催となり、かわまちづくりや河川敷のオープン化に向けた検討に活かされるものとされており、今後、レンジャー活動での連携など「河川利用」や「川づくり・人づくり」に関する活動展開が考えられます。

#### ③ 枚方・三矢地区他公園整備

淀川河川公園枚方・三矢地区、守口地区、外島地区では令和3年改定の公園整備計画(概ね5年程度で実施が見込まれる内容を記載した計画)において、公園整備の検討・実施が位置付けられています。

整備に際しては淀川の自然環境の保全・再生、淀川らしい利用の促進が求められており、レンジャー活動での連携など「環境保全」や「河川利用」に関する活動展開が考えられます。

#### ④ 下島地区高規格堤防整備(守口市)

守口市の下島地区(淀川左岸15k付近)では令和6年度より高規格堤防の整備が進められていることから、工事の見学会や学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。

### (3) 意見交換会で抽出された川の課題【視点1】

河川管理者と河川レンジャーの意見交換会で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

表 5.2 川の課題と課題解決に向けた活動状況

川の課題	課題解決に向けた活動状況
河川利用のマナー向上	<p>自転車利用者へのマナーアップの取り組み、自転車の不法投棄防止が課題となっており、今後、活動展開の検討が必要である。</p> <p>また、ワンドでの不法桟橋設置による釣り利用者などへの河川利用に関する啓発も課題となっており、今後、活動展開の検討が必要である。</p> <p>利用ルールの見直しや道路に走行レーンを明示するといった具体的な対策を行うには時間がかかるため、その他にすぐに着手できることとして、自転車利用者に対しマナー向上を呼びかける活動をすることや、アンケートで改善に関する意見を集めること等が具体的な活動としてまとめた。意見交換会での議論をふまえ、<u>自転車利用者のマナーアップに向けて、河川の利用者からの意見聴取を行い、具体的な対策をまとめる活動を令和6年度から開始している。</u></p>
河川の維持管理 ワンドの保全	<p>ワンドや多自然池周辺には、<u>外来植物や樹木が繁茂しており、河川清掃以外に、伐採後の再樹林化を防ぐ活動や環境保全活動も必要である。</u></p>
不法投棄の防止	<p><u>淀川水系一斉美化アクション（毎年1～3月に流域全体で清掃を実施）や個別の活動において河川清掃やマナーアップの取り組みを行っており、今後も継続的な展開が必要である。</u></p>
三矢ワンド保全・利活用	<p>新設された三矢ワンドでは、R3年度に観察会・生き物調査が実施されている。</p>
点野ワンド保全・利活用	<p><u>寝屋川地区では河川レンジャーがおらず、アドバイザーにより活動が継続されており、R6年度以降の展開計画においては寝屋川エリアを重点地区に定めて新規河川レンジャーの募集を行っているところである。</u></p>

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「環境保全」と「河川利用」「維持管理」分野での活動展開が必要と考えられます。

(4) 地域住民のニーズ【視点1】

① アンケート調査の概要

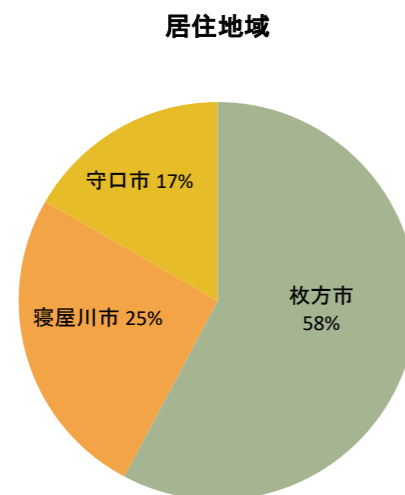
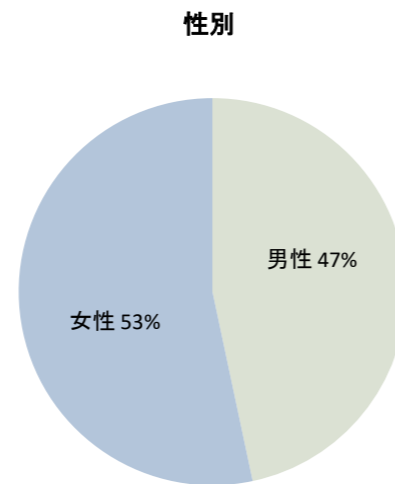
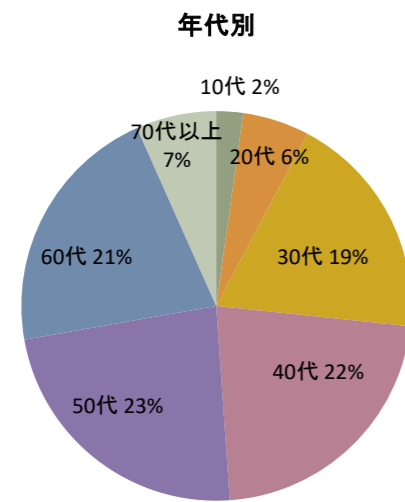
河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

表 5.3 アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和7年1月30日～31日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	90

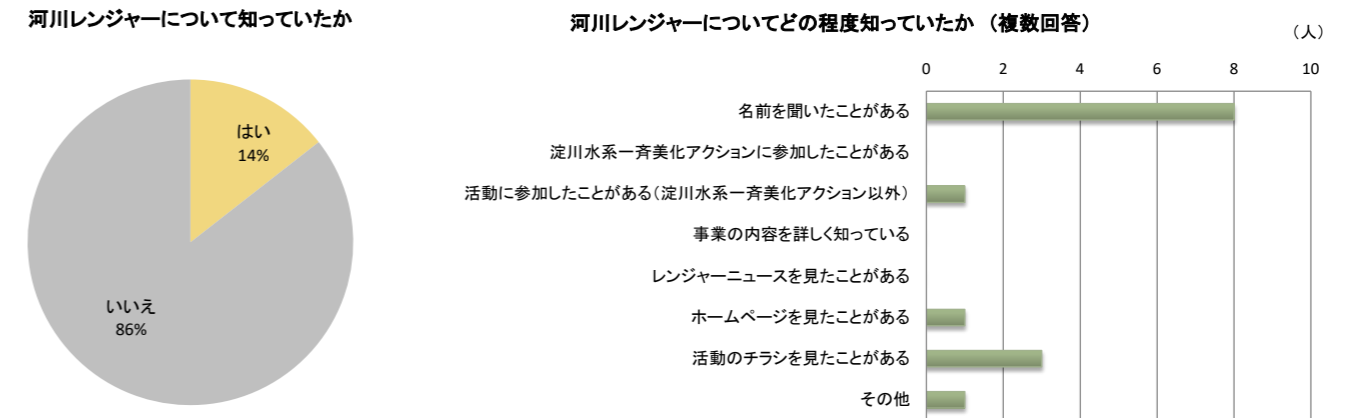
\*分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成22年3月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

【枚方出張所管内回答者属性】



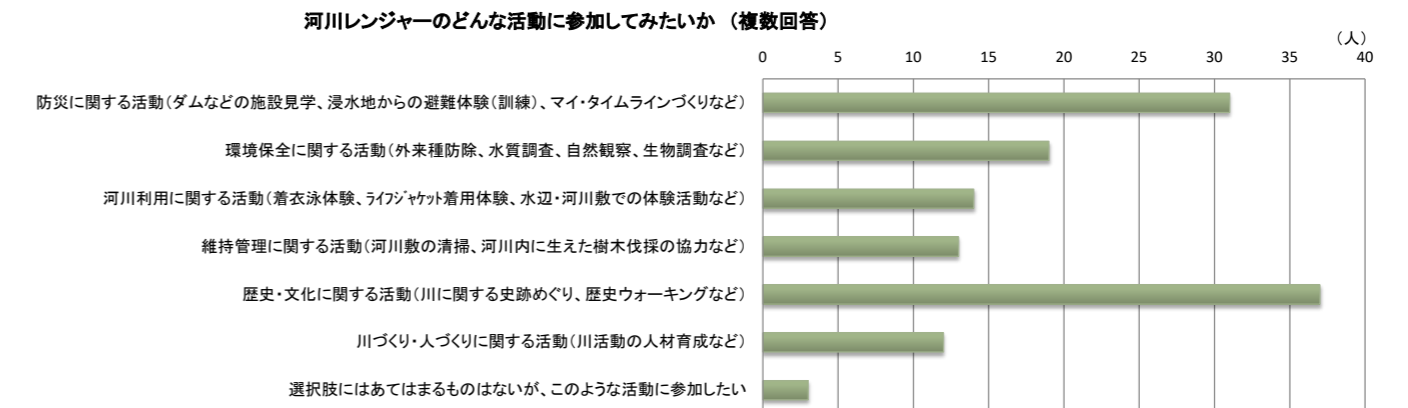
② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ  
 <河川レンジャーの認知度>

河川レンジャーの認知度は14%（昨年調査18%）であり、「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、活動に参加したことがあるという方もいます。



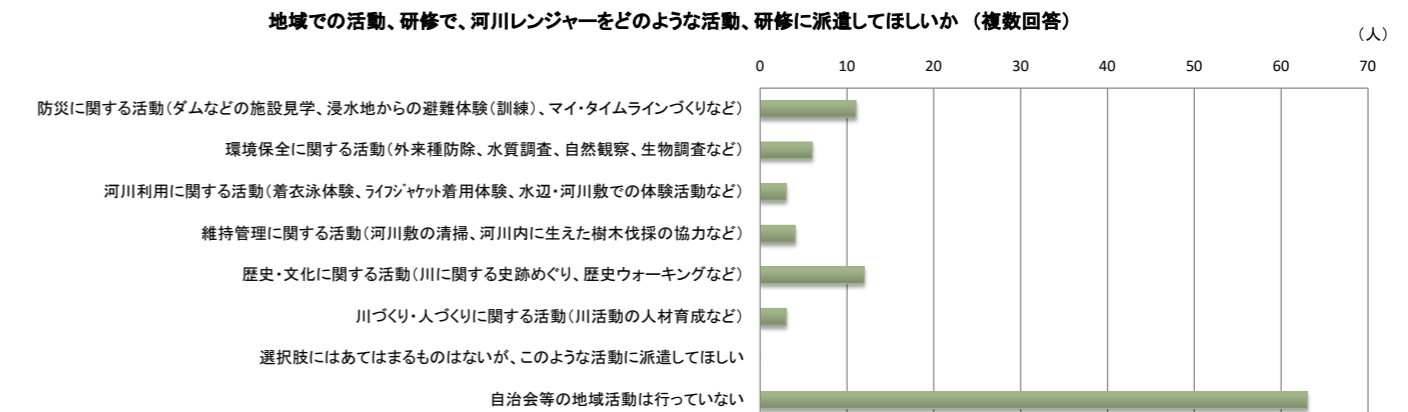
<参加を希望する活動>

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「歴史・文化」に関する活動への参加希望が最も多く、次いで「治水・防災」「環境保全」に関する活動が希望されています。



<地域活動への支援ニーズ>

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「歴史・文化」「治水・防災」に関する活動が多くなっています。



(5) 河川レンジャーの活動状況【視点2】

① これまでの河川レンジャー活動状況

枚方出張所管内では、学校・行政・自治会・コミュニティセンター等から依頼を受けて、防災、環境、水辺の安全指導等の出前授業が活発に行われています。地域ニーズが高く、今後も継続が必要です。（「治水・防災」「環境保全」「河川利用」分野の活動）

淀川河川公園枚方地区の多自然池では、なごめる水辺づくりを目指し、定期的に河川清掃活動を実施し、川の課題改善に向けた提案を行っています。（「維持管理」「川づくり・人づくり」分野の活動）

淀川への興味・関心を高めるため、自然観察会、パネル展示、ヨシ工作等が実施されています。（「環境保全」分野の活動）

枚方出張所管内では、年1回淀川京街道クリーン大作戦で各活動拠点において河川清掃活動を実施しています。（「維持管理」分野の活動）

今年度からは、自転車利用者のマナーアップに向けた取り組みとして、河川利用者への意見聴取が行われています。（「河川利用」分野の活動）

主な活動地域は、枚方市、寝屋川市、守口市、門真市です。

点野ワンド・砂州（寝屋川市）では、河川レンジャーアドバイザーが『点野みんなの水辺づくり』（「環境保全」「川づくり・人づくり」分野の活動）として月1回の河川清掃活動、外来種防除等、自然観察、人材育成等に取り組んでいます。点野では、今後も地域と連携した川づくりが継続される予定です。

今後の活動展開をふまえ、寝屋川市を活動拠点とする河川レンジャーが必要です。

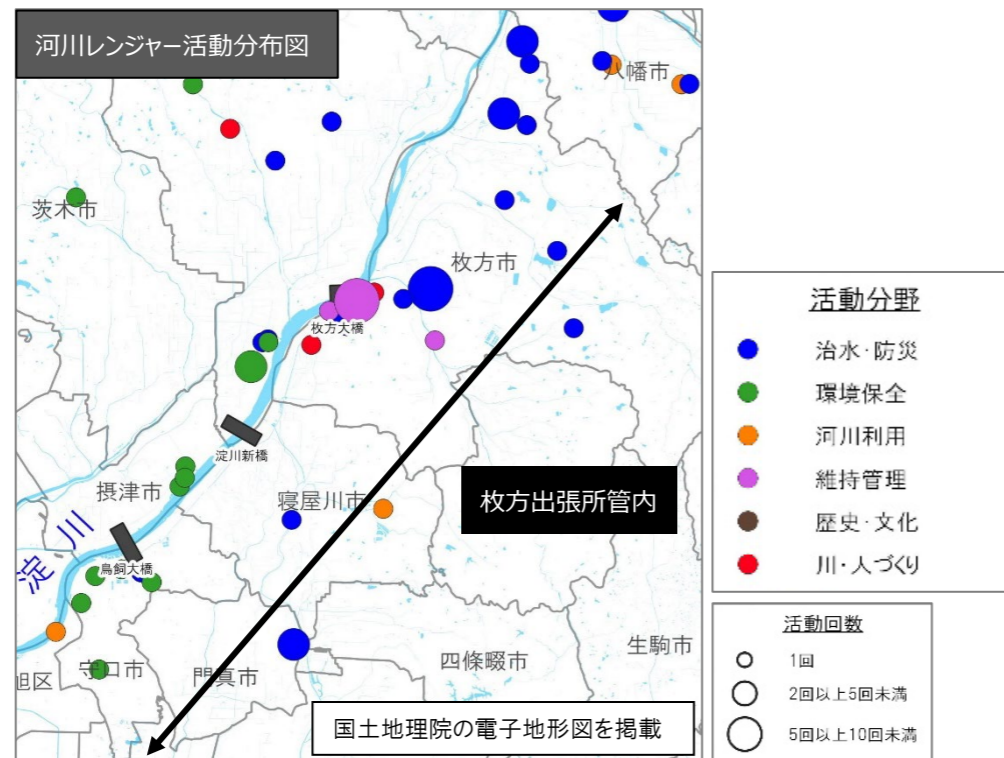


図 5.2 枚方出張所管内 河川レンジャー活動分布図

表 5.4 枚方出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	川づくり・人づくり
防災講座（道場 R、岡村 R、多田 R）	自然観察会、パネル展示等（道場 R、天野 R）	利用マナーの改善に向けた意見聴取（道場 R）	河川清掃（全レンジャー）	川の人材育成（岡村 R）

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

② 令和7年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で3名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和7年度は「治水・防災」「環境保全」「河川利用」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の全ての分野で活動が予定されています。

また、活動地域については枚方市、寝屋川市、守口市での活動が予定されています。

表 5.5 枚方出張所管内の令和7年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	行政区				
								枚方市	寝屋川市	守口市	その他	
道場 明子	自転車と歩行者に関する意見聴取			●								
	守口市こどもまつり		●							●		
	守口市立とよかんまつり	●								●		
	パッタのオリンピック		●							●		
	寝屋川市立図書館 水の防災講座	●								●		
	淀川水系一斉美化アクション				●						●	
岡村 雅広	なごめる水辺づくり				●			●				
	淀川水系一斉美化アクション 京街道 枚方				●			●				
	大阪区民カレッジ 城東校 枚方の街 淀川を知る 防災学習					●		●				
	大阪府民カレッジ 枚方校 枚方の街 淀川を知る 防災学習					●		●				
	枚方市総合防災訓練 ひこ防'z	●							●			
	夏休み企画 淀川をもっと知ろう							●	●			
天野 康生	庭窪ワンド保全活動(7回)		●								●	
	庭窪ワンド意見交換会		●								●	
	淀川水系一斉美化アクション				●						●	

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。

また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

## 6. 高槻出張所管内における展開計画検討資料

### (1) 沿川自治体で推進されている事業等【視点1】

沿川自治体の総合計画では、環境保全に関する取り組みが複数進められており、環境学習や自然環境を活用した青少年の育成など、良好な自然環境を保全していくことが必要と考えられます。

また、水害に備えて、市民の防災意識の向上や自主的な防災活動の充実を図る事業も推進されています。その他、地域活動の推進や、市民の学習機会を増やす取り組みが進められており、地域コミュニティの形成や高齢者の社会参加、生きがいくくりも課題となっています。

河川レンジャーの活動としては、最も重視する分野として「環境保全」分野での展開が、次いで「治水・防災」「川づくり・人づくり」の分野での展開が考えられます。

表 6.1 河川レンジャーとの連携が期待できる沿川自治体の事業等と分野

自治体名	計画名(策定年月) 【計画期間】	具体的な取り組み内容	治水・ 防災	環境 保全	河川 利用	維持 管理	歴史・ 文化	川・人 づくり
高槻市	第6次高槻市総合計画 /実施計画 (R6.2)  【R6~R8年度】	地域防災力の向上	●					●
		地域環境の保全 (河川水質の定期測定等)		●				
		コミュニティ活動の推進	●	●	●	●	●	●
		市民協働や市民公益活動の推進	●	●	●	●	●	●
島本町	第5次島本町総合計画 (R2.3)  【R2~R11年度】	自然環境の保全・活用 (水無瀬川・淀川など水辺環境の保全等)		●				
		環境学習・啓発の推進 (環境学習の充実による環境意識の高揚、指導人材の育成等)		●				●
		環境衛生・美化の推進				●		
		防災力の強化 (地域防災力の向上等)	●					
		生涯学習・社会教育の推進	●	●			●	●
		歴史文化資料館の活用 (住民交流の場とした有効活用等)				●		

### (2) 河川管理者等によって進められている河川事業等【視点1】

#### ① 芥川河道掘削

高槻市を流れる芥川では令和6年度より河道掘削が実施されていることから、工事の見学会や工事の必要性に関する学習会など「治水・防災」に関する活動展開が考えられます。

#### ② 鶴殿ヨシ原保全活動

淀川の中でも最大級で、歴史的・文化的・生態的にも重要な場所である鶴殿ヨシ原においては、高水敷の切り下げを行うことでヨシの冠水頻度を高め、ヨシ原の復元・保全を図る取り組みが進められています。河川レンジャーにおいては、住民と連携したカナムグラの駆除など、ヨシ原保全活動と連携した「環境保全」に関する活動展開が考えられます。



図 6.1 高水敷の切り下げによる鶴殿ヨシ原の保全イメージ  
(淀川河川事務所ホームページ / R6 年度事業概要より抜粋)

#### ③ 唐崎地区ワンド再生

高槻市の唐崎地区では唐崎ワンドの再生が進められており、更なる地域の魅力向上に繋がる「環境保全」に関する活動展開が考えられます。



図 6.2 唐崎ワンド再生箇所 位置図

### (3) 意見交換会で抽出された川の課題【視点1】

河川管理者と河川レンジャーの意見交換会で抽出された川の課題等から、河川レンジャーが連携を図ることが望ましい活動分野を整理します。

表 6.2 川の課題と課題解決に向けた活動状況

川の課題	課題解決に向けた活動状況
外来植物対策・樹林化防止	三島江地区の外来植物駆除・樹木の再繁茂防止は、アドバイザーが実施していた活動を河川レンジャーが引き継ぎ、地域の学校と連携して活動を継続している。
大塚地区ワンドの保全・利活用	アドバイザーが2ヶ月に1回開催するワーキングで、出張所・河川公園課と情報共有・対策が検討されている。また、さまざまな活動を通じてアドバイザーが住民から意見を集め、ワーキングでの検討に意見を反映しており、今後も継続的な展開が必要である。
自転車利用者のマナーアップ	現在は活動および計画無し。
水辺の安全利用	芥川では直轄管理区間で安全利用点検を行い、利用の観点から危険箇所の有無、注意喚起の標識（看板）の設置状況を確認・報告し、その後、看板が設置されている。 R3年度には河川レンジャーが看板の設置状況や水辺の危険箇所を確認し、高槻出張所へ報告しており、今後も引き続き、活動を通じた河川利用に関する啓発活動を行う必要がある。
防災に関する啓発	地域からの要望を受け、マイ防災マップ、マイ・タイムライン等の防災学習を実施しており、今後も継続的な展開が必要である。

以上より、当出張所管内での川の課題解決に向けた取り組みとしては、「治水・防災」と「環境保全」、「河川利用」分野での活動展開が必要と考えられます。

(4) 地域住民のニーズ【視点1】

① アンケート調査の概要

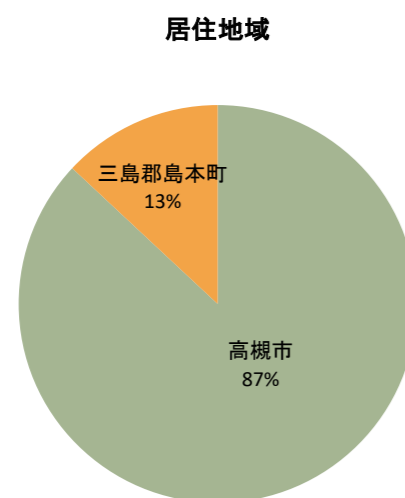
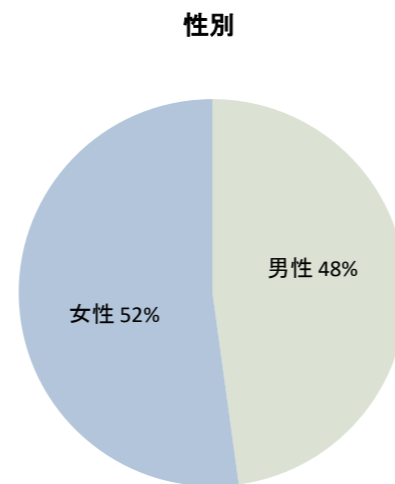
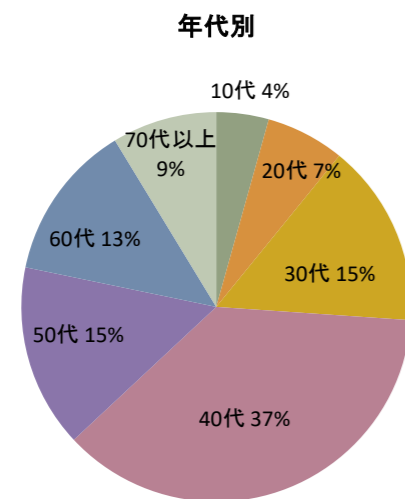
河川レンジャー活動のニーズ把握のため、インターネットを利用して実施したアンケート調査結果から、河川レンジャー活動のニーズを整理します。

表 6.3 アンケート調査概要

項目	内容
調査期間	令和7年1月30日～31日
調査方法	Web アンケート
調査対象	淀川沿川住民
全回答数	420
管内回答数	46

\*分析に必要な標本数については、住民基本台帳人口・世帯数から、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（平成22年3月）」による式により算定し、設定した。調査にあたっては、運営会議管内の人口比に対応させて標本数を按分し、収集した。

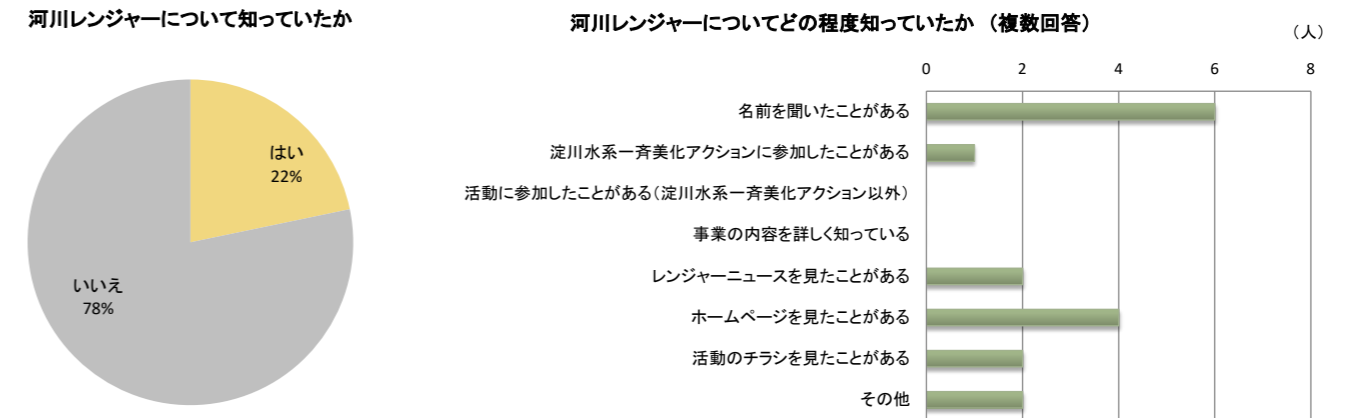
【高槻出張所管内回答者属性】



② アンケート調査結果にみる河川レンジャー活動のニーズ

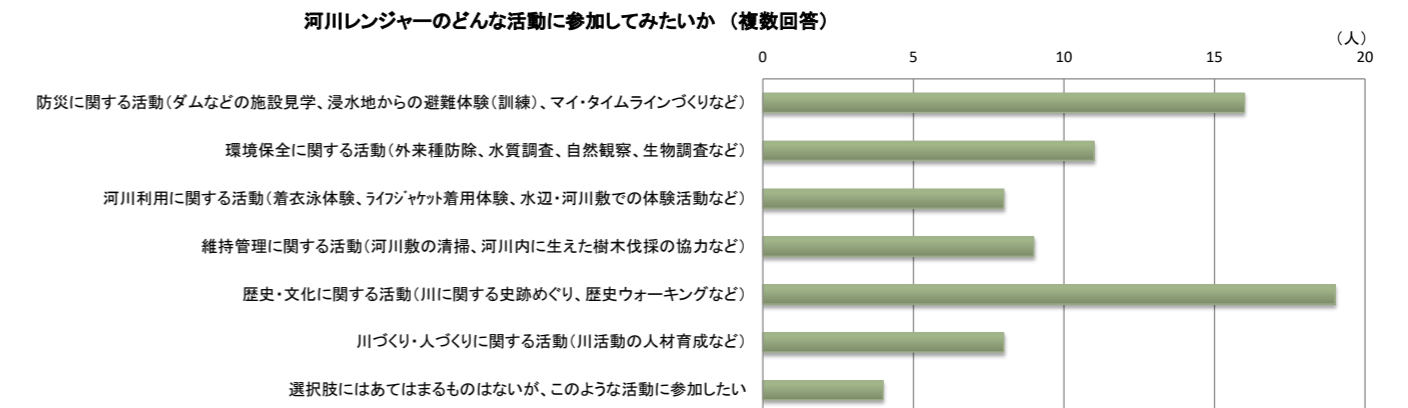
<河川レンジャーの認知度>

河川レンジャーの認知度は22%（昨年調査28%）であり、「名前を聞いたことがある」という方が多数ですが、活動に参加したことがあるという方もいます。



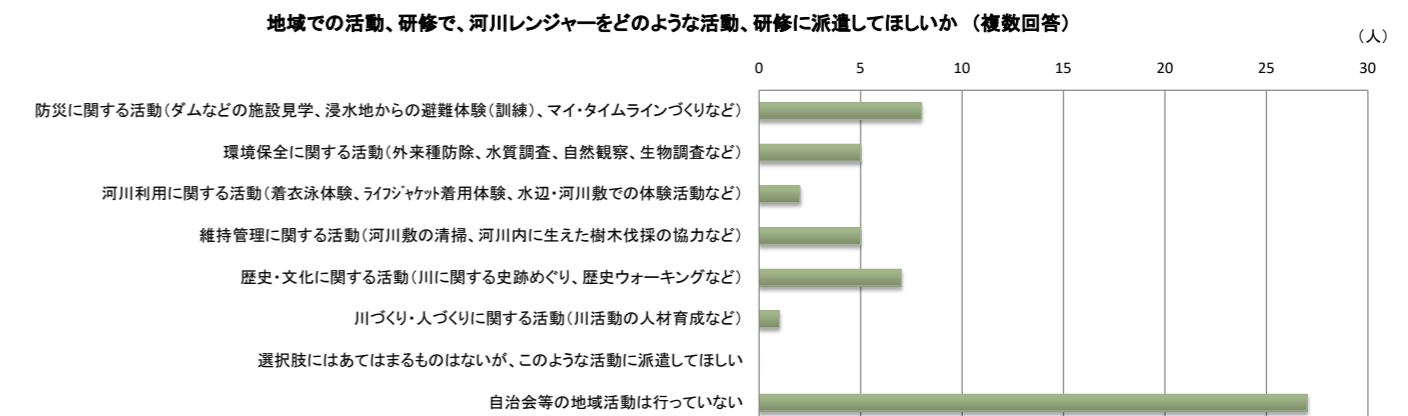
<参加を希望する活動>

河川レンジャーの活動内容から抽出した活動メニューに対しては「歴史・文化」に関する活動への参加希望が最も多く、次いで「治水・防災」「環境保全」に関する活動が希望されています。



<地域活動への支援ニーズ>

自治会活動等への河川レンジャーの支援ニーズに対しては「治水・防災」「歴史・文化」に関する活動が多くなっています。



(5) 河川レンジャーの活動状況【視点2】

① これまでの河川レンジャー活動状況

高槻出張所管内では、学校・自治体・自治会・公民館等から依頼を受けて、防災や環境学習の出前授業が活発に行われています。地域からのニーズも高く、今後も継続が必要です。（「治水・防災」「環境保全」分野の活動）

年1回淀川芥川クリーンアップ大作戦では、高槻市と連携して活動を実施しており、大塚地区、三島江地区、芥川の拠点で河川レンジャーが担当し、毎年、河川清掃活動を実施し、ゴミを捨てにくい環境づくりに取り組んでいます。また、三島江地区では、樹林化防止のため、伐採後に芽かきを行う活動を実施しています。これらの活動は、今後も継続が必要です。（「維持管理」分野の活動）

高槻市内では、川に関わる人材育成を目的とし、河川への興味・関心を高める川歩きの活動“高槻ジュニア河川レンジャー”を実施しています。（「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」分野の活動）

淀川への興味・関心を高めるため、歴史探訪や自然観察会等、多くの活動が実施されています。（「歴史・文化」「環境保全」分野の活動）

主な活動地域は、高槻市、島本町、茨木市です。摂津市（毛馬出張所管内）を拠点に活動する河川レンジャーがいないため、継続して摂津市でも活動しています。

活発な活動展開のため、管内のすべての地域で河川レンジャーが必要です。

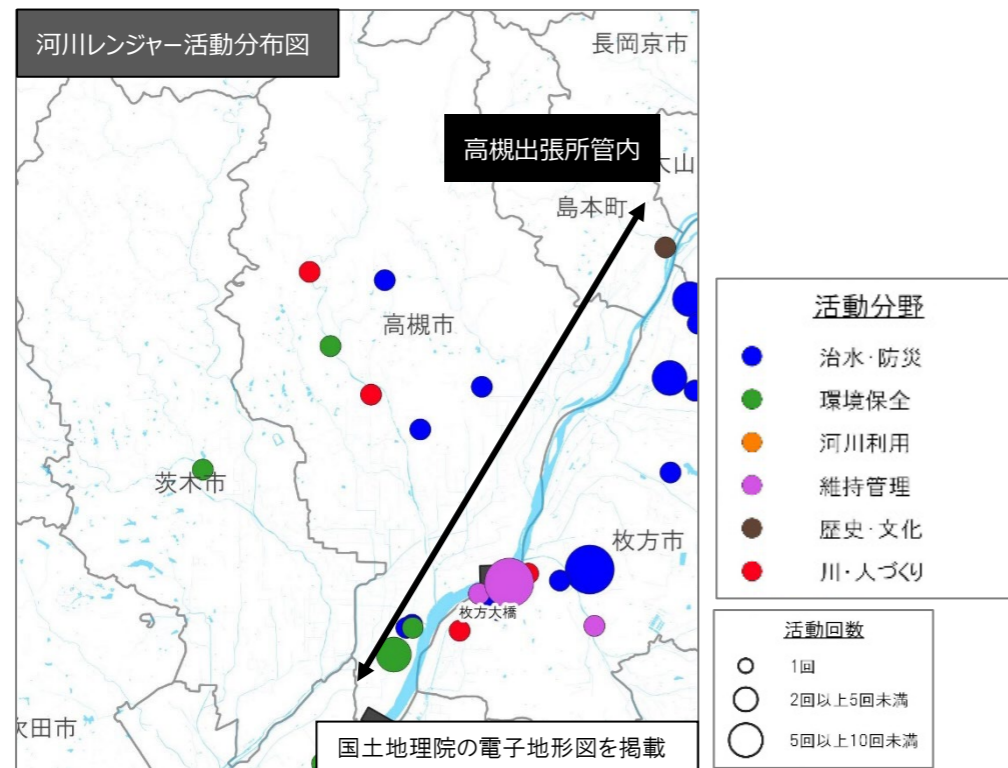


図 6.3 高槻出張所管内 河川レンジャー活動分布図

表 6.4 高槻出張所管内の活動状況

治水・防災	環境保全	維持管理	歴史・文化	川・人づくり
防災講座（杉本 R、竹本 R）	自然観察会（杉本 R、竹本 R）	河川清掃（杉本 R、竹本 R）	歴史探訪（杉本 R）	人材育成（杉本 R）

※主たる活動分野について、活動内容と取り組みを行っている河川レンジャー名を記載しています。

② 令和7年度に活動が予定されている分野と地域

来年度は、当管内で4名の河川レンジャーが活動を予定しています。予定されている活動について、主要な活動分野、活動地域を分類整理すると下表のとおりです。

令和7年度は「治水・防災」「環境保全」「維持管理」「歴史・文化」「川づくり・人づくり」の分野で活動が予定されています。

また、活動地域については高槻市、茨木市、摂津市での活動が予定されています。

表 6.5 高槻出張所管内の令和7年度河川レンジャー活動予定

氏名	活動名	治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり・人づくり	行政区		
								高槻市	島本町	その他
杉本 真一	高槻ジュニア河川レンジャー(4回)						●	●		
	川の学習会～川スタ～(4回)		●					●		● 茨木市
	環境講座 鶴殿のヨシから学ぶ シリーズ		●					●		
	淀川水系一斉美化アクション (高槻ジュニア河川レンジャー)				●			●		
竹本 克巳	春の淀川・桜の玉川を歩く (淀川フィールドワーク)					●		●		
	防災学習～地域の水害について考えてみよう (2回)	●						●		
	環境学習～自然とのふれあい(三島江公園)野鳥探索		●					●		
	川の施設等の見学会	●								● 未定
奥山 佳一	淀川流域に生息している生物を知ろう		●							● 高槻市または茨木市、摂津市
小林 勝男	地域連携で淀川の安全を考えよう(2回)	●						●		
連携活動	流域治水グリーンインフラ・川づくりプロジェクト in 島飼地区(3回)		●							● 摂津市
	自然とのふれあい(三島江野草地区)				●			●		
	淀川・芥川クリーンアップ大作戦				●			●		

※複数の分野に取り組む活動は、主要な分野で分類しています。

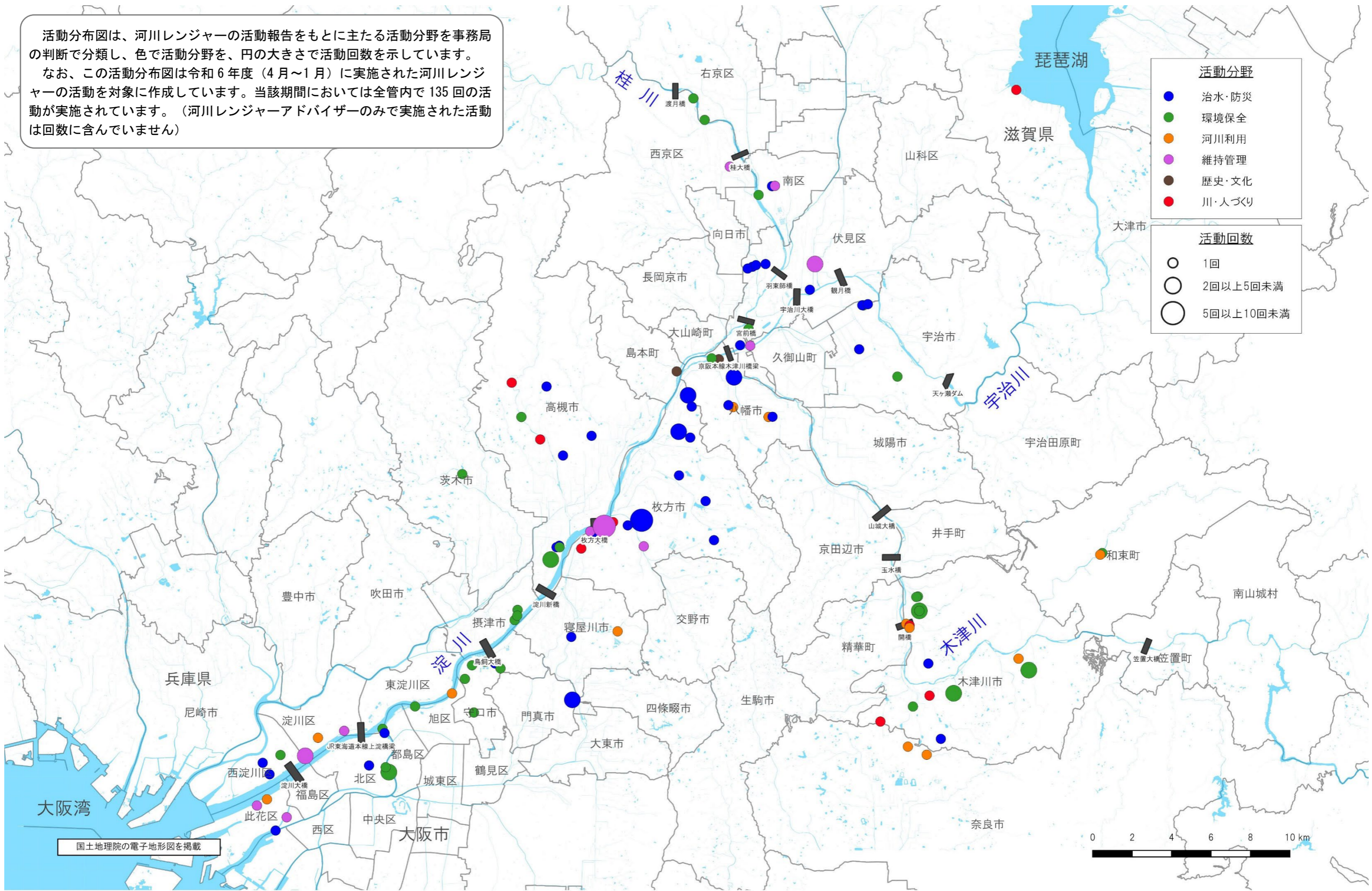
また、各活動は計画段階のため、活動分野については事務局の判断で分類しています。

活動分布図は、河川レンジャーの活動報告をもとに主たる活動分野を事務局の判断で分類し、色で活動分野を、円の大きさを活動回数で示しています。  
 なお、この活動分布図は令和6年度（4月～1月）に実施された河川レンジャーの活動を対象に作成しています。当該期間においては全管内で135回の活動が実施されています。（河川レンジャーアドバイザーのみで実施された活動は回数に含んでいません）

活動分野	
●	治水・防災
●	環境保全
●	河川利用
●	維持管理
●	歴史・文化
●	川・人づくり

活動回数	
○	1回
○	2回以上5回未満
○	5回以上10回未満



国土地理院の電子地形図を掲載